

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 特 許 公 報(B2)

(11) 特許番号

特許第4245833号  
(P4245833)

(45) 発行日 平成21年4月2日(2009.4.2)

(24) 登録日 平成21年1月16日(2009.1.16)

(51) Int. Cl.		F I		
<b>G06Q 20/00</b>	<b>(2006.01)</b>	G06F 17/60	410G	
<b>G06Q 30/00</b>	<b>(2006.01)</b>	G06F 17/60	324	
<b>G06Q 50/00</b>	<b>(2006.01)</b>	G06F 17/60	ZEC	

請求項の数 21 (全 41 頁)

(21) 出願番号	特願2001-310630 (P2001-310630)	(73) 特許権者	000131201
(22) 出願日	平成13年10月5日 (2001.10.5)		株式会社CSKホールディングス
(65) 公開番号	特開2003-115018 (P2003-115018A)		東京都港区南青山2丁目26番1号
(43) 公開日	平成15年4月18日 (2003.4.18)	(74) 代理人	100107364
審査請求日	平成16年9月29日 (2004.9.29)		弁理士 斉藤 達也
		(72) 発明者	帯津 勉
			東京都新宿区西新宿2丁目6番1号 株式
			会社シーエスケイ内
		(72) 発明者	佐藤 弘一
			東京都新宿区西新宿2丁目6番1号 株式
			会社シーエスケイ内
		(72) 発明者	佐々木 亮
			東京都新宿区西新宿2丁目6番1号 株式
			会社シーエスケイ内

最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 カード情報処理装置、カード情報処理方法、および、プログラム

(57) 【特許請求の範囲】

【請求項1】

複数種類のカードを保有する利用者の情報処理装置、および、各カードを発行するカード会社の情報処理装置に対して、ネットワークを介して相互に通信可能に接続して構成されたカード情報処理装置であって、

上記利用者が保有する各カードに関する情報、または、これら各カードを利用することにより当該利用者に付与されたポイントに関する情報を、上記利用者の情報処理装置または上記カード会社の情報処理装置から上記ネットワークを介して受信する受信手段と、

上記各利用者の利用者ID、各利用者が保有しているカードを発行した上記カード会社を一意に特定するためのカード会社ID、及び、各カードを利用することにより各カードの利用者に付与されているポイントを、相互に関連付けて格納するカード情報格納手段と、

上記カード会社ID、各カード会社が提供する各特典の内容情報、及び、上記各特典を得るために必要なポイントを、相互に関連付けて格納する特典情報格納手段と、

上記利用者の情報処理装置から当該カード情報処理装置に対してポイント交換要求が当該利用者の利用者IDと共に送信された場合において、当該送信された利用者IDに対応するカード会社ID及びポイントを前記カード情報格納手段から取得し、当該取得したカード会社ID及びポイントに対応する特典の内容情報を上記特典情報格納手段から取得することにより、当該利用者が交換可能な特典を選定する、ポイント処理手段と、

複数の上記利用者によって構成されるグループに関し、各グループを一意に識別するた

めのグループID、各グループを構成する各利用者の利用者ID、各グループの代表者として選定された利用者の利用者ID、及び、グループを構成する各利用者のポイントの中からグループポイントとすべきポイントを特定するためのグループポイント特定情報を、相互に関連付けて格納するグループ情報格納手段と、

上記利用者の情報処理装置から当該カード情報処理装置に対してグループ登録要求が当該利用者の利用者ID及び上記代表者の利用者IDと共に送信された場合において、当該送信された利用者の利用者ID及び代表者の利用者IDを相互に関連付けて上記グループ情報格納手段に格納するグループ登録処理手段と、を備え、

上記特典情報格納手段は、上記各特典を得るために必要なグループポイントを、上記カード会社ID及び上記特典の内容情報と相互に関連付けて格納し、

上記ポイント処理手段は、上記利用者の情報処理装置から当該カード情報処理装置に対してポイント交換要求が当該利用者の利用者IDと共に送信された場合において、当該送信された利用者IDが上記代表者として上記グループ情報格納手段に格納されている場合、当該代表者の利用者IDに対応するグループを構成する各利用者の利用者ID、及び、グループポイント特定情報を、当該グループ情報格納手段から取得し、取得した各利用者IDに対応するカード会社ID及びポイントを上記カード情報格納手段から取得し、当該取得したグループポイント特定情報及びポイントに基づいて、上記代表者の利用者が利用可能なグループポイントを算定し、当該算定したグループポイントに対応する特典の内容情報を、上記特典情報格納手段から取得することにより、当該代表者の利用者が交換可能な特典を選定すること、

を特徴とするカード情報処理装置。

【請求項2】

各特典を得るために必要なカード会社ID及びポイントの組合せと、特典を一意に識別するための特典IDとを、相互に関連付けて構成されている組合せ特典情報格納手段を備え、

上記ポイント処理手段は、上記取得したカード会社ID及びポイントに対応する組合せ特典の特典IDを上記組合せ特典情報格納手段から取得することにより、当該利用者が取得可能な特典を選定すること、

を特徴とする請求項1に記載のカード情報処理装置。

【請求項3】

上記取得したポイントを、上記複数種類のカードに共通の共通ポイントに変換する共通ポイント変換手段と、

共通特典の内容情報、及び、上記共通特典を得るために必要な共通ポイントを、相互に関連付けて格納する共通特典情報格納手段とを備え、

上記ポイント処理手段は、上記共通ポイント変換手段にて変換された共通ポイントに対応する共通特典の内容情報を上記共通特典情報格納手段から取得することにより、上記利用者が取得可能な特典を決定すること、

を特徴とする請求項1または2に記載のカード情報処理装置。

【請求項4】

上記グループポイント特定情報は、グループを構成する各利用者のポイントの中から、当該グループのポイントとして算定すべきポイントの割合を特定するためのポイント割合情報であること、

を特徴とする請求項1～3のいずれか一つに記載のカード情報処理装置。

【請求項5】

上記グループポイント特定情報は、グループを構成する各利用者のポイントの中から、上記特定の利用者が利用可能なポイントの限度を特定するためのポイント限度情報であること、

を特徴とする請求項1～3のいずれか一つに記載のカード情報処理装置。

【請求項6】

上記グループポイント特定情報は、グループを構成する各利用者のポイントの中から、

端数と認識されるポイントを特定するためのポイント端数情報であること、  
を特徴とする請求項 1 ~ 3 のいずれか一つに記載のカード情報処理装置。

【請求項 7】

上記グループ登録処理手段は、上記送信された利用者 ID と代表者の利用者 ID とが一致するか否かに関わらず、当該代表者の利用者 ID を上記グループ情報格納手段に格納すること、

を特徴とする請求項 1 ~ 6 のいずれか一つに記載のカード情報処理装置。

【請求項 8】

上記各グループに属している上記利用者の数を計数し、当該利用者数が多い順に、各グループ相互間のランキングを決定するグループランキング決定手段、

を備えることを特徴とする請求項 1 ~ 7 のいずれか一つに記載のカード情報処理装置。

【請求項 9】

上記ポイント処理手段は、上記グループランキング決定手段にて決定されたランキングに基づいて、グループの利用者の全部または特定の一部に対して所定の特典を付与可能と判断すること、

を特徴とする請求項 8 に記載のカード情報処理装置。

【請求項 10】

各利用者の属性に関する利用者情報を格納する利用者情報格納手段を備え、

上記ポイント処理手段は、上記利用者情報格納手段に格納された利用者情報に基づいて、グループの各利用者の相互の属性が所定関係にあるか否かを判断し、所定関係にある場合には、当該利用者の全部または特定の一部に対して所定の特典を付与可能と判断すること、

を特徴とする請求項 1 ~ 9 のいずれか一つに記載のカード情報処理装置。

【請求項 11】

カード会社の発行するカードまたは当該カードの利用者に関する情報を処理するためのカード情報処理装置を用いて、カード会社の発行するカードまたは当該カードの利用者に関する情報を処理するためのカード情報処理方法であって、

上記カード情報処理装置が、

上記利用者が保有する各カードに関する情報、または、これら各カードを利用することにより当該利用者に付与されたポイントに関する情報を、上記利用者の情報処理装置または上記カード会社の情報処理装置から所定のネットワークを介して受信する受信手順と、

上記各利用者の利用者 ID、各利用者が保有しているカードを発行した上記カード会社を一意に特定するためのカード会社 ID、及び、各カードを利用することにより各カードの利用者に付与されているポイントを、相互に関連付けて所定のカード情報格納装置に格納するカード情報格納手順と、

上記カード会社 ID、各カード会社が提供する各特典の内容情報、及び、上記各特典を得るために必要なポイントを、相互に関連付けて所定の特典情報格納装置に格納する特典情報格納手順と、

上記利用者の情報処理装置から所定のカード情報処理装置に対してポイント交換要求が当該利用者の利用者 ID と共に送信された場合において、当該送信された利用者 ID に対応するカード会社 ID 及びポイントを前記カード情報格納装置から取得し、当該取得したカード会社 ID 及びポイントに対応する特典の内容情報を上記特典情報格納装置から取得することにより、当該利用者が交換可能な特典を選定する、ポイント処理手順と、

複数の上記利用者によって構成されるグループに関し、各グループを一意に識別するためのグループ ID、各グループを構成する各利用者の利用者 ID、各グループの代表者として選定された利用者の利用者 ID、及び、グループを構成する各利用者のポイントの中からグループポイントとすべきポイントを特定するためのグループポイント特定情報を、相互に関連付けて所定のグループ情報格納装置に格納するグループ情報格納手順と、

上記利用者の情報処理装置から上記カード情報処理装置に対してグループ登録要求が当該利用者の利用者 ID 及び上記代表者の利用者 ID と共に送信された場合において、当該

10

20

30

40

50

送信された利用者の利用者ID及び代表者の利用者IDを相互に関連付けて上記グループ情報格納装置に格納するグループ登録処理手順と、を備え、

上記カード情報処理装置が、

上記特典情報格納手順において、上記各特典を得るために必要なグループポイントを、上記カード会社ID及び上記特典の内容情報と相互に関連付けて格納し、

上記ポイント処理手順において、上記利用者の情報処理装置から上記カード情報処理装置に対してポイント交換要求が当該利用者の利用者IDと共に送信された場合において、当該送信された利用者IDが上記代表者として上記グループ情報格納手順において格納されている場合、当該代表者の利用者IDに対応するグループを構成する各利用者の利用者ID、及び、グループポイント特定情報を、上記グループ情報格納装置から取得し、取得した各利用者IDに対応するカード会社ID及びポイントを上記カード情報格納装置から取得し、当該取得したグループポイント特定情報及びポイントに基づいて、上記代表者の利用者が利用可能なグループポイントを算定し、当該算定したグループポイントに対応する特典の内容情報を、上記特典情報格納装置から取得することにより、当該代表者の利用者が交換可能な特典を選定すること、

を特徴とするカード情報処理方法。

【請求項12】

上記カード情報処理装置が、各特典を得るために必要なカード会社ID及びポイントの組合せと、特典を一意に識別するための特典IDとを、相互に関連付けて所定の組合せ情報格納装置に格納する組合せ特典情報格納手順を備え、

上記ポイント処理手順において、上記カード情報処理装置が、上記取得したカード会社ID及びポイントに対応する組合せ特典の特典IDを上記組合せ特典情報格納装置から取得することにより、当該利用者が取得可能な特典を選定すること、

を特徴とする請求項11に記載のカード情報処理方法。

【請求項13】

上記カード情報処理装置が、

上記取得したポイントを、上記複数種類のカードに共通の共通ポイントに変換する共通ポイント変換手順と、

共通特典の内容情報、及び、上記共通特典を得るために必要な共通ポイントを、相互に関連付けて所定の共通特典情報格納装置に格納する共通特典情報格納手順とを備え、

上記ポイント処理手順において、上記カード情報処理装置が、上記共通ポイント変換手順にて変換された共通ポイントに対応する共通特典の内容情報を上記共通特典情報格納装置から取得することにより、上記利用者が取得可能な特典を決定すること、

を特徴とする請求項11または12に記載のカード情報処理方法。

【請求項14】

上記グループポイント特定情報は、上記カード情報処理装置が、グループを構成する各利用者のポイントの中から、当該グループのポイントとして算定すべきポイントの割合を特定するためのポイント割合情報であること、

を特徴とする請求項11～13のいずれか一つに記載のカード情報処理方法。

【請求項15】

上記グループポイント特定情報は、上記カード情報処理装置が、グループを構成する各利用者のポイントの中から、上記特定の利用者が利用可能なポイントの限度を特定するためのポイント限度情報であること、

を特徴とする請求項11～13のいずれか一つに記載のカード情報処理方法。

【請求項16】

上記グループポイント特定情報は、上記カード情報処理装置が、グループを構成する各利用者のポイントの中から、端数と認識されるポイントを特定するためのポイント端数情報であること、

を特徴とする請求項11～13のいずれか一つに記載のカード情報処理方法。

【請求項17】

上記グループ登録処理手順において、上記カード情報処理装置が、上記送信された利用者IDと代表者の利用者IDとが一致するか否かに関わらず、当該代表者の利用者IDを上記グループ情報格納装置に格納すること、

を特徴とする請求項11～16のいずれか一つに記載のカード情報処理方法。

【請求項18】

上記カード情報処理装置が、上記各グループに属している上記利用者の数を計数し、当該利用者数が多い順に、各グループ相互間のランキングを決定するグループランキング決定手順、

を備えることを特徴とする請求項11～17のいずれか一つに記載のカード情報処理方法。

10

【請求項19】

上記ポイント処理手順において、上記カード情報処理装置が、上記グループランキング決定手順において決定されたランキングに基づいて、グループの利用者の全部または特定の一部に対して所定の特典を付与可能と判断すること、

を特徴とする請求項18に記載のカード情報処理方法。

【請求項20】

上記カード情報処理装置が、各利用者の属性に関する利用者情報を所定の利用者情報格納手段に格納する利用者情報格納手順を備え、

上記ポイント処理手順において、上記カード情報処理装置が、上記利用者情報格納手段に格納された利用者情報に基づいて、グループの各利用者の相互の属性が所定関係にあるか否かを判断し、所定関係にある場合には、当該利用者の全部または特定の一部に対して所定の特典を付与可能と判断すること、

20

を特徴とする請求項11～19のいずれか一つに記載のカード情報処理方法。

【請求項21】

上記請求項11～20のいずれか一つに記載されたカード情報処理方法をコンピュータに実行させることを特徴とするプログラム。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】

本発明は、クレジット会社等が発行する複数種類のカードに関する情報を統括的に管理等するための、カード情報処理装置、カード情報処理方法、および、プログラムに関連する

30

【0002】

【従来の技術】

今日、各種クレジット会社のクレジットカードや、小売店や航空会社のポイントカード等、様々なカードが発行され利用されている。そして、これら各カードの利用者に対して、いわゆるポイントサービスが展開されている。すなわち、利用者が自己のカードを利用すると、その際の利用金額等に応じてポイントを取得することができ、このポイントを、クレジット会社等が提供する商品やサービス等の各種の特典と交換することができる。

【0003】

ここで、従来、各種のカードは、クレジット会社や小売店等、相互に別個の組織によって発行され、そのポイントについても相互に別個の組織によって管理されていた。したがって、例えば、A社のカードを利用することによって取得したポイントと、B社のカードを利用することによって取得したポイントとは、相互に異なるシステムで管理されており、互換性が一切なかった。

40

【0004】

【発明が解決しようとする課題】

このように、従来は、各種のカードが別個に発行および管理されており、各カードを利用することによって取得したポイント等の相互間の関連性が一切なかったため、下記のような種々の問題が生じていた。

50

## 【 0 0 0 5 】

例えば、利用者は、A社のカードで取得したポイントは、A社の提供する特典としか交換することができず、B社のカードで取得したポイントは、B社の提供する特典としか交換することができなかつた。すなわち、A社のポイントとB社のポイントとは、相互に関連性のない独立した価値としてしか利用することができず、これらを相互に組合せて共通の価値として利用することができなかつたので、結局はそれぞれのポイントが余ってしまう等、利用者にとっての利便性が悪いという問題があつた。

なお、A社のポイントとB社の特典とを交換することができるようなポイントの相互融通システムも存在しているが、このシステムはあくまで、一方のポイントの価値を他のポイントの価値に置き換えるものであり、各ポイントを共通の価値に置き換えるものではなかつた。

10

## 【 0 0 0 6 】

また、カードは基本的に利用者個人に属しており、カードのポイントも当該カードの利用者のみが使うことを前提としていたので、カードのポイントを他の利用者に寄付することや、複数の利用者が共同してポイントを利用することが困難であつた。

なお、カードのポイントを、慈善団体等に寄付することのできるシステムも存在しているが、このシステムはあくまでも、カードのポイントを、利用者以外の組織に提供するものであり、利用者同士の寄付や、利用者同士の共同利用等、利用者同士のコミュニティー内部での利用を可能とするものではない。

20

## 【 0 0 0 7 】

また、各種のカードが別個に発行および管理されていたので、これら各カードに関する各種の情報を相互に共通化することが難しかった。このため、例えば、A社は、自社が発行したカードの利用者の情報しか把握することができず、同業他社であるB社が発行したカードがどのような利用者に利用されているのか等の傾向を把握することが不可能であつたため、自社の問題点を分析したり、B社の利用者に自社のカードを利用してもらうためのマーケティング戦略を立案する等、カードの種別の枠を越えた横断的なマーケティングや傾向分析を行うことが困難であつた。

## 【 0 0 0 8 】

本発明は上記問題に鑑みてなされたもので、ポイントを含むカード情報を統括的に管理等することにより、ポイントの有効活用、ポイントの共同利用、カード情報の横断的な利用を行う等、各カードやそのポイントを相互に関連させた新しい価値を提供することできる、カード情報処理装置、カード情報処理方法、および、プログラムを提供することを目的としている。

30

## 【 0 0 0 9 】

このような目的を達成するため、請求項1に記載のカード情報処理装置は、複数種類のカードを保有する利用者の情報処理装置、および、各カードを発行するカード会社の情報処理装置に対して、ネットワークを介して相互に通信可能に接続して構成されたカード情報処理装置であつて、上記利用者が保有する各カードに関する情報、または、これら各カードを利用することにより当該利用者に付与されたポイントに関する情報を、上記利用者の情報処理装置または上記カード会社の情報処理装置から上記ネットワークを介して受信する受信手段と、上記各利用者の利用者ID、各利用者が保有しているカードを発行した上記カード会社を一意に特定するためのカード会社ID、及び、各カードを利用することにより各カードの利用者に付与されているポイントを、相互に関連付けて格納するカード情報格納手段と、上記カード会社ID、各カード会社が提供する各特典の内容情報、及び、上記各特典を得るために必要なポイントを、相互に関連付けて格納する特典情報格納手段と、上記利用者の情報処理装置から当該カード情報処理装置に対してポイント交換要求が当該利用者の利用者IDと共に送信された場合において、当該送信された利用者IDに対応するカード会社ID及びポイントを前記カード情報格納手段から取得し、当該取得したカード会社ID及びポイントに対応する特典の内容情報を上記特典情報格納手段から取得することにより、当該利用者が交換可能な特典を選定する、ポイント処理手段と、複数

40

50

の上記利用者によって構成されるグループに関し、各グループを一意に識別するためのグループID、各グループを構成する各利用者の利用者ID、各グループの代表者として選定された利用者の利用者ID、及び、グループを構成する各利用者のポイントの中からグループポイントとすべきポイントを特定するためのグループポイント特定情報を、相互に関連付けて格納するグループ情報格納手段と、上記利用者の情報処理装置から当該カード情報処理装置に対してグループ登録要求が当該利用者の利用者ID及び上記代表者の利用者IDと共に送信された場合において、当該送信された利用者の利用者ID及び代表者の利用者IDを相互に関連付けて上記グループ情報格納手段に格納するグループ登録処理手段と、を備え、上記特典情報格納手段は、上記各特典を得るために必要なグループポイントを、上記カード会社ID及び上記特典の内容情報と相互に関連付けて格納し、上記ポイント処理手段は、上記利用者の情報処理装置から当該カード情報処理装置に対してポイント交換要求が当該利用者の利用者IDと共に送信された場合において、当該送信された利用者IDが上記代表者として上記グループ情報格納手段に格納されている場合、当該代表者の利用者IDに対応するグループを構成する各利用者の利用者ID、及び、グループポイント特定情報を、当該グループ情報格納手段から取得し、取得した各利用者IDに対応するカード会社ID及びポイントを上記カード情報格納手段から取得し、当該取得したグループポイント特定情報及びポイントに基づいて、上記代表者の利用者が利用可能なグループポイントを算定し、当該算定したグループポイントに対応する特典の内容情報を、上記特典情報格納手段から取得することにより、当該代表者の利用者が交換可能な特典を選定すること、を特徴とする。

10

20

**【0010】**

この装置によれば、利用者が保有する各カードの種類に関する情報、または、これら各カードのポイントに関する情報と、ポイントにて取得可能な特典を特定するための特典情報とに基づいて、利用者が取得可能な特典が決定される。すなわち、従来であれば、各カード会社が自社のカードのポイントのみに基づいて個別的に特典取得の可否等を判断していたのに対して、本装置によれば、利用者が複数種類のカードを保有している場合において各々のカードの種類やポイントを統括的に判断して特典の取得可否や特典付与を行うことができるので、利用者の複数種類のカードに対するポイントサービスを統括的に行うことができる。また、この装置によれば、グループを構成する利用者を特定するためのグループ情報と、各利用者のポイントに関する情報とに基づいて、グループに属する特定の利用者が利用可能なグループポイントが算定され、特定の利用者が取得可能な特典が決定される。すなわち、従来であれば、利用者のポイントは当該利用者自身でしか利用することができず、あるいは、利用者以外の団体等に寄付することしかできなかったのに対して、本装置によれば、利用者のポイントを利用者相互間で共有したり寄付することができ、利用者のポイントを利用者相互に共通の価値に置き換えて、特典を付与等することができるので、従来存在しなかった新規な価値を創設して、利用者によるコミュニティー内部でのカードの組織的な利用促進等を図ることができる。

30

**【0011】**

また、請求項2に記載のカード情報処理装置は、請求項1に記載のカード情報処理装置において、各特典を得るために必要なカード会社ID及びポイントの組合せと、特典を一意に識別するための特典IDとを、相互に関連付けて構成されている組合せ特典情報格納手段を備え、上記ポイント処理手段は、上記取得したカード会社ID及びポイントに対応する組合せ特典の特典IDを上記組合せ特典情報格納手段から取得することにより、当該利用者が取得可能な特典を選定すること、を特徴とする。

40

**【0012】**

この装置によれば、利用者が保有する各カードの種類やそのポイントの組合せに応じて、利用者が取得可能な特典が決定される。すなわち、従来であれば、各カード会社のカードのポイントに個別的な価値のみを認めて特典取得の可否等を判断していたのに対して、本装置によれば、利用者の複数種類のカードやポイントの相互の関連性に着目してその価値を認め、特典を付与等することができるので、従来存在しなかった新規な価値を創設して

50

、カードの種類が足りない場合にはその加入を促す等、カード加入の促進等を図ることができる。

【0013】

また、請求項3に記載のカード情報処理装置は、請求項1または2に記載のカード情報処理装置において、上記取得したポイントを、上記複数種類のカードに共通の共通ポイントに変換する共通ポイント変換手段と、共通特典の内容情報、及び、上記共通特典を得るために必要な共通ポイントを、相互に関連付けて格納する共通特典情報格納手段とを備え、上記ポイント処理手段は、上記共通ポイント変換手段にて変換された共通ポイントに対応する共通特典の内容情報を上記共通特典情報格納手段から取得することにより、上記利用者が取得可能な特典を決定すること、を特徴とする。

10

【0014】

この装置によれば、各カードのポイントが、複数種類のカードに共通の共通ポイントに変換され、この共通ポイントに対して、利用者が取得可能な特典が決定される。すなわち、従来であれば、各カード会社のカードのポイントに個別的な価値のみを認めて特典取得の可否等を判断していたのに対して、本装置によれば、利用者の複数種類のカードを共通の価値に置き換えて、特典を付与等することができるので、従来存在しなかった新規な価値を創設して、カード利用の促進等を図ることができる。

【0019】

また、請求項4に記載のカード情報処理装置は、請求項1～3のいずれか一つに記載のカード情報処理装置において、上記グループポイント特定情報は、グループを構成する各利用者のポイントの中から、当該グループのポイントとして算定すべきポイントの割合を特定するためのポイント割合情報であることを特徴とする。

20

【0020】

これはグループポイント特定情報の一例を具体的に特定するものであり、この装置によれば、各利用者のポイントのうち、ポイント割合情報にて特定される割合のポイントが、グループポイントとして算定される。

【0023】

また、請求項5に記載のカード情報処理装置は、請求項1～3のいずれか一つに記載のカード情報処理装置において、上記グループポイント特定情報は、グループを構成する各利用者のポイントの中から、上記特定の利用者が利用可能なポイントの限度を特定するためのポイント限度情報であることを特徴とする。

30

【0024】

これはグループポイント特定情報の他の例を具体的に特定するものであり、この装置によれば、各利用者のポイントのうち、ポイント限度情報にて特定される限度内のポイントが、グループポイントとして算定される。

【0025】

また、請求項6に記載のカード情報処理装置は、請求項1～3のいずれか一つに記載のカード情報処理装置において、上記グループポイント特定情報は、グループを構成する各利用者のポイントの中から、端数と認識されるポイントを特定するためのポイント端数情報であることを特徴とする。

40

【0026】

これはグループポイント特定情報の他の例を具体的に特定するものであり、この装置によれば、各利用者のポイントのうち、ポイント端数情報にて特定される端数のポイントが、グループポイントとして算定される。

【0027】

また、請求項7に記載のカード情報処理装置は、請求項1～6のいずれか一つに記載のカード情報処理装置において、上記グループ登録処理手段は、上記送信された利用者IDと代表者の利用者IDとが一致するか否かに関わらず、当該代表者の利用者IDを上記グループ情報格納手段に格納することを特徴とする。

【0028】

50

この装置によれば、代表者識別情報にて識別される利用者と、当該代表者識別情報を送信した利用者とが一致するか否かに関わらず、代表者識別情報が格納されるので、各利用者は、任意の他の利用者を、当該他の利用者の意思に関わらず代表者として登録等することができ、自己と関連のない他の利用者へのポイントの寄付等を容易に行うことができる。

【 0 0 2 9 】

また、請求項 8 に記載のカード情報処理装置は、請求項 1 ~ 7 のいずれか一つに記載のカード情報処理装置において、上記各グループに属している上記利用者の数を計数し、当該利用者数が多い順に、各グループ相互間のランキングを決定するグループランキング決定手段を備えることを特徴とする。

【 0 0 3 0 】

この装置によれば、グループに属している利用者の数に基づいて、各グループ相互間のランキングが決定される。したがって、このランキングを利用者に公表等することにより、グループ選定の際の指標を提示したり、グループの各利用者のポイント取得の意欲の喚起等を図ることができる。

【 0 0 3 1 】

また、請求項 9 に記載のカード情報処理装置は、請求項 8 に記載のカード情報処理装置において、上記ポイント処理手段は、上記グループランキング決定手段にて決定されたランキングに基づいて、グループの利用者の全部または特定の一部に対して所定の特典を付与可能と判断することを特徴とする。

【 0 0 3 2 】

この装置によれば、ランキングに基づいて、グループの利用者の全部または特定の一部に対して所定の特典が付与可能と判断される。したがって、グループのランキング自体にも新たな価値を認めて、グループの各利用者のポイント取得の意欲の喚起等を図ることができる。

【 0 0 3 3 】

また、請求項 1 0 に記載のカード情報処理装置は、請求項 1 ~ 9 のいずれか一つに記載のカード情報処理装置において、各利用者の属性に関する利用者情報を格納する利用者情報格納手段を備え、上記ポイント処理手段は、上記利用者情報格納手段に格納された利用者情報に基づいて、グループの各利用者の相互の属性が所定関係にあるか否かを判断し、所定関係にある場合には、当該利用者の全部または特定の一部に対して所定の特典を付与可能と判断することを特徴とする。

【 0 0 3 4 】

この装置によれば、グループの各利用者の相互の属性が所定関係にある場合には、当該利用者の全部または特定の一部に対して所定の特典が付与可能と判断される。したがって、単にグループで共通するポイントの有無等ではなく、このグループを構成する利用者相互の関係によって特典付与の可否が判断されるので、グループを構成する利用者相互の関係に新しい価値を創造し、グループの設立促進等を図ることができる。

【 0 0 7 1 】

また、本発明はカード情報処理方法に関するものであり、請求項 1 1 に記載のカード情報処理方法は、カード会社の発行するカードまたは当該カードの利用者に関する情報を処理するためのカード情報処理装置を用いて、カード会社の発行するカードまたは当該カードの利用者に関する情報を処理するためのカード情報処理方法であって、上記カード情報処理装置が、上記利用者が保有する各カードに関する情報、または、これら各カードを利用することにより当該利用者に付与されたポイントに関する情報を、上記利用者の情報処理装置または上記カード会社の情報処理装置から所定のネットワークを介して受信する受信手順と、上記各利用者の利用者 ID、各利用者が保有しているカードを発行した上記カード会社を一意に特定するためのカード会社 ID、及び、各カードを利用することにより各カードの利用者に付与されているポイントを、相互に関連付けて所定のカード情報格納装置に格納するカード情報格納手順と、上記カード会社 ID、各カード会社が提供する各

10

20

30

40

50

特典の内容情報、及び、上記各特典を得るために必要なポイントを、相互に関連付けて所定の特典情報格納装置に格納する特典情報格納手順と、上記利用者の情報処理装置から所定のカード情報処理装置に対してポイント交換要求が当該利用者の利用者IDと共に送信された場合において、当該送信された利用者IDに対応するカード会社ID及びポイントを前記カード情報格納装置から取得し、当該取得したカード会社ID及びポイントに対応する特典の内容情報を上記特典情報格納装置から取得することにより、当該利用者が交換可能な特典を選定する、ポイント処理手順と、複数の上記利用者によって構成されるグループに関し、各グループを一意に識別するためのグループID、各グループを構成する各利用者の利用者ID、各グループの代表者として選定された利用者の利用者ID、及び、グループを構成する各利用者のポイントの中からグループポイントとすべきポイントを特定するためのグループポイント特定情報を、相互に関連付けて所定のグループ情報格納装置に格納するグループ情報格納手順と、上記利用者の情報処理装置から上記カード情報処理装置に対してグループ登録要求が当該利用者の利用者ID及び上記代表者の利用者IDと共に送信された場合において、当該送信された利用者の利用者ID及び代表者の利用者IDを相互に関連付けて上記グループ情報格納装置に格納するグループ登録処理手順と、を備え、上記カード情報処理装置が、上記特典情報格納手順において、上記各特典を得るために必要なグループポイントを、上記カード会社ID及び上記特典の内容情報と相互に関連付けて格納し、上記ポイント処理手順において、上記利用者の情報処理装置から上記カード情報処理装置に対してポイント交換要求が当該利用者の利用者IDと共に送信された場合において、当該送信された利用者IDが上記代表者として上記グループ情報格納手順において格納されている場合、当該代表者の利用者IDに対応するグループを構成する各利用者の利用者ID、及び、グループポイント特定情報を、上記グループ情報格納装置から取得し、取得した各利用者IDに対応するカード会社ID及びポイントを上記カード情報格納装置から取得し、当該取得したグループポイント特定情報及びポイントに基づいて、上記代表者の利用者が利用可能なグループポイントを算定し、当該算定したグループポイントに対応する特典の内容情報を、上記特典情報格納装置から取得することにより、当該代表者の利用者が交換可能な特典を選定することを特徴とする。

#### 【0072】

この方法によれば、利用者が保有する各カードの種類に関する情報、または、これら各カードのポイントに関する情報と、ポイントにて取得可能な特典を特定するための特典情報とに基づいて、利用者が取得可能な特典が決定される。すなわち、従来であれば、各カード会社が自社のカードのポイントのみに基づいて個別的に特典取得の可否等を判断していたのに対して、本方法によれば、利用者が複数種類のカードを保有している場合において各々のカードの種類やポイントを統括的に判断して特典の取得可否や特典付与を行うことができるので、利用者の複数種類のカードに対するポイントサービスを統括的に行うことができる。また、この方法によれば、グループを構成する利用者を特定するためのグループ情報と、各利用者のポイントに関する情報とに基づいて、グループに属する特定の利用者が利用可能なグループポイントが算定され、特定の利用者が取得可能な特典が決定される。すなわち、従来であれば、利用者のポイントは当該利用者自身でしか利用することができず、あるいは、利用者以外の団体等に寄付することしかできなかったのに対して、本方法によれば、利用者のポイントを利用者相互間で共有したり寄付することができ、利用者のポイントを利用者相互に共通の価値に置き換えて、特典を付与等することができるので、従来存在しなかった新規な価値を創設して、カードの組織的な利用促進等を図ることができる。

#### 【0073】

また、請求項12に記載のカード情報処理方法は、請求項11に記載のカード情報処理方法において、上記カード情報処理装置が、各特典を得るために必要なカード会社ID及びポイントの組合せと、特典を一意に識別するための特典IDとを、相互に関連付けて所定の組合せ情報格納装置に格納する組合せ特典情報格納手順を備え、上記ポイント処理手順において、上記カード情報処理装置が、上記取得したカード会社ID及びポイントに対

10

20

30

40

50

応する組合せ特典の特典IDを上記組合せ特典情報格納装置から取得することにより、当該利用者が取得可能な特典を選定することを特徴とする。

【0074】

この方法によれば、利用者が保有する各カードの種類やそのポイントの組合せに応じて、利用者が取得可能な特典が決定される。すなわち、従来であれば、各カード会社のカードのポイントに個別的な価値を認めて特典取得の可否等を判断していたのに対して、本方法によれば、利用者の複数種類のカードやポイントの相互の関連性に着目してその価値を認め、特典を付与等することができるので、従来存在しなかった新規な価値を創設して、カードの種類が足りない場合にはその加入を促す等、カード加入の促進等を図ることができる。

10

【0075】

また、請求項13に記載のカード情報処理方法は、請求項11または12に記載のカード情報処理方法において、上記カード情報処理装置が、上記取得したポイントを、上記複数種類のカードに共通の共通ポイントに変換する共通ポイント変換手順と、共通特典の内容情報、及び、上記共通特典を得るために必要な共通ポイントを、相互に関連付けて所定の共通特典情報格納装置に格納する共通特典情報格納手順とを備え、上記ポイント処理手順において、上記カード情報処理装置が、上記共通ポイント変換手順にて変換された共通ポイントに対応する共通特典の内容情報を上記共通特典情報格納装置から取得することにより、上記利用者が取得可能な特典を決定することを特徴とする。

【0076】

この方法によれば、各カードのポイントが、複数種類のカードに共通の共通ポイントに変換され、この共通ポイントに対して、利用者が取得可能な特典が決定される。すなわち、従来であれば、各カード会社のカードのポイントに個別的な価値を認めて特典取得の可否等を判断していたのに対して、本方法によれば、利用者の複数種類のカードを共通の価値に置き換えて、特典を付与等することができるので、従来存在しなかった新規な価値を創設して、カード利用の促進等を図ることができる。

20

【0081】

また、請求項14に記載のカード情報処理方法は、請求項11～13のいずれか一つに記載のカード情報処理方法において、上記グループポイント特定情報は、上記カード情報処理装置が、グループを構成する各利用者のポイントの中から、当該グループのポイントとして算定すべきポイントの割合を特定するためのポイント割合情報であることを特徴とする。

30

【0082】

これはグループポイント特定情報の一例を具体的に特定するものであり、この方法によれば、各利用者のポイントのうち、ポイント割合情報にて特定される割合のポイントが、グループポイントとして算定される。

【0085】

また、請求項15に記載のカード情報処理方法は、請求項11～13のいずれか一つに記載のカード情報処理方法において、上記グループポイント特定情報は、上記カード情報処理装置が、グループを構成する各利用者のポイントの中から、上記特定の利用者が利用可能なポイントの限度を特定するためのポイント限度情報であることを特徴とする。

40

【0086】

これはグループポイント特定情報の他の例を具体的に特定するものであり、この方法によれば、各利用者のポイントのうち、ポイント限度情報にて特定される限度内のポイントが、グループポイントとして算定される。

【0087】

また、請求項16に記載のカード情報処理方法は、請求項11～13のいずれか一つに記載のカード情報処理方法において、上記グループポイント特定情報は、上記カード情報処理装置が、グループを構成する各利用者のポイントの中から、端数と認識されるポイントを特定するためのポイント端数情報であることを特徴とする。

50

## 【 0 0 8 8 】

これはグループポイント特定情報の他の例を具体的に特定するものであり、この方法によれば、各利用者のポイントのうち、ポイント端数情報にて特定される端数のポイントが、グループポイントとして算定される。

## 【 0 0 8 9 】

また、請求項 1 7 に記載のカード情報処理方法は、請求項 1 1 ~ 1 6 のいずれか一つに記載のカード情報処理方法において、上記グループ登録処理手順において、上記カード情報処理装置が、上記送信された利用者 I D と代表者の利用者 I D とが一致するか否かに関わらず、当該代表者の利用者 I D を上記グループ情報格納装置に格納することを特徴とする。

10

## 【 0 0 9 0 】

この方法によれば、代表者識別情報にて識別される利用者と、当該代表者識別情報を送信した利用者とが一致するか否かに関わらず、代表者識別情報が格納されるので、各利用者は、任意の他の利用者を、当該他の利用者の意思に関わらず代表者として登録等することができ、任意の他の利用者へのポイントの寄付等を容易に行うことができる。

## 【 0 0 9 1 】

また、請求項 1 8 に記載のカード情報処理方法は、請求項 1 1 ~ 1 7 のいずれか一つに記載のカード情報処理方法において、上記カード情報処理装置が、上記各グループに属している上記利用者の数を計数し、当該利用者数が多い順に、各グループ相互間のランキングを決定するグループランキング決定手順を備えることを特徴とする。

20

## 【 0 0 9 2 】

この方法によれば、グループに属している利用者の数に基づいて、各グループ相互間のランキングが決定される。したがって、このランキングを利用者に公表等することにより、グループ選定の際の指標を提示したり、グループの各利用者のポイント取得の意欲の喚起等を図ることができる。

## 【 0 0 9 3 】

また、請求項 1 9 に記載のカード情報処理方法は、請求項 1 8 に記載のカード情報処理方法において、上記ポイント処理手順において、上記カード情報処理装置が、上記グループランキング決定手順において決定されたランキングに基づいて、グループの利用者の全部または特定の一部に対して所定の特典を付与可能と判断することを特徴とする。

30

## 【 0 0 9 4 】

この方法によれば、ランキングに基づいて、グループの利用者の全部または特定の一部に対して所定の特典が付与可能と判断される。したがって、グループのランキング自体にも新たな価値を認めて、グループの各利用者のポイント取得の意欲の喚起等を図ることができる。

## 【 0 0 9 5 】

また、請求項 2 0 に記載のカード情報処理方法は、請求項 1 1 ~ 1 9 のいずれか一つに記載のカード情報処理方法において、上記カード情報処理装置が、各利用者の属性に関する利用者情報を所定の利用者情報格納装置に格納する利用者情報格納手順を備え、上記ポイント処理手順において、上記カード情報処理装置が、上記利用者情報格納手段に格納された利用者情報に基づいて、グループの各利用者の相互の属性が所定関係にあるか否かを判断し、所定関係にある場合には、当該利用者の全部または特定の一部に対して所定の特典を付与可能と判断すること、を特徴とする。

40

## 【 0 0 9 6 】

この方法によれば、グループの各利用者の相互の属性が所定関係にある場合には、当該利用者の全部または特定の一部に対して所定の特典が付与可能と判断される。したがって、単にグループで共通するポイントの有無等ではなく、このグループを構成する利用者相互の関係によって特典付与の可否が判断されるので、グループを構成する利用者相互の関係に新しい価値を創造し、グループの設立促進等を図ることができる。

## 【 0 1 3 3 】

50

また、本発明はプログラムに関するものであり、請求項 2 1 に記載のプログラムは、請求項 1 1 ~ 2 0 のいずれか一つに記載されたカード情報処理方法をコンピュータに実行させることを特徴とする。

【 0 1 3 4 】

このプログラムによれば、当該プログラムをサーバ装置等の情報処理装置にインストール等して実行することにより、請求項 1 1 ~ 2 0 のいずれか一つに記載されたカード情報処理方法をコンピュータを利用して実現することができ、これら各方法と同様の効果を得ることができる。

【 0 1 3 5 】

【発明の実施の形態】

以下に、本発明にかかるカード情報処理装置、カード情報処理方法、および、プログラムの実施の形態を図面に基づいて詳細に説明する。なお、この実施の形態によりこの発明が限定されるものではない。

【 0 1 3 6 】

〔全体の概要〕

以下、本実施の形態におけるカード情報管理の全体の概要について説明し、その後、装置構成および処理等について詳細に説明する。

図 1 はこの実施形態にかかるカード情報処理システム（以下、本システム）の全体構成図である。この図 1 において、複数種類のカードに関する情報の管理を統括的に行う事業者（以下、サービサー）の統括管理サーバ 1 0 0、カードを発行する会社（以下、カード会社）の個別管理サーバ 2 0 0、および、カードの利用者（以下、単に利用者）のクライアント装置 3 0 0 が、インターネット 4 0 0 を介して相互に通信可能に接続して構成されている。

【 0 1 3 7 】

このように構成される本システムにおいて、従来のシステムと異なる主たる基本的な特徴は、以下の通りである。

まず、（ 1 ）各利用者は複数種類のカードのポイントを一元的に利用することができる。例えば、各利用者は、各カードを利用することによって取得したポイントを、各カードに共通のポイントに変換して、各カード会社が提供する特典とは別個に本システムが提供する特典と交換することができる。また、各利用者は、自己の有するカードの種類と、各カードを利用することによって取得したポイントとが、所定の組合せに該当する場合には、特典を得ることができる。

なお、説明中、各カードに共通のポイントを「共通ポイント」と称するが、単に「ポイント」と称する場合には、各カード毎の「ポイント」および「共通ポイント」の両方を含むものとする。また、本システムが提供する特典を「共通特典」と称するが、単に「特典」と称する場合には、各カード毎の「特典」および「共通特典」の両方を含むものとする。

【 0 1 3 8 】

また、（ 2 ）各利用者は、他の利用者と共同してグループを構成することができる。そして、各グループでは、このグループに属する各利用者のポイントの中の一定のポイントを、各利用者のうちの特定の利用者が利用することができる。本実施の形態においては、この特定の利用者を、グループに属する利用者から選定された「代表者」とする。ただし、いわゆる代表者に限定せず、グループに属する全ての利用者がポイントを利用できるようにシステム構成してもよく、また、代表者は複数選定することもできる。

【 0 1 3 9 】

また、（ 3 ）本システムにおいては、上記のようにカード会社と利用者との間にサービサーが介在しており、このサービサーがカード会社または利用者に対して各種のサービスを提供する。例えば、サービサーは、各利用者が各カード会社のカード会員になるための入会申込みを代行する。あるいは、サービサーは、複数のカードのそれぞれを利用する利用者の傾向等を分析して、その情報を各カード会社に提供する。

なお、本発明は、これら主たる特徴以外にも種々の特徴を有しているが、この点について

10

20

30

40

50

は後述する。

【 0 1 4 0 】

〔システム構成 統括管理サーバ100〕

次に、このような特徴を有する本システムの構成について説明する。

まず、統括管理サーバ100の構成について説明する。図2は統括管理サーバ100の要部構成を示すブロック図である。この統括管理サーバ100は、利用者の各カードに関する情報を統括的に管理するカード情報処理装置であり、格納部110、通信制御部130、および、制御部140を備えて構成され、これら各部は任意の通信路を介して通信可能に接続されている。

【 0 1 4 1 】

このうち、格納部110は、統括管理サーバ100の各種機能に必要なプログラムおよびデータ等を格納する格納手段（記憶手段）であり、機能概念的に、利用者情報DB111、グループ情報DB112、カード情報DB113、カード会社情報DB114、特典情報DB115、共通特典情報DB116、組合せ特典情報DB117、特典取得履歴情報DB118、キャンペーン情報DB119、請求情報DB120、および、WebDB121を備えて構成されている。

【 0 1 4 2 】

このうち、利用者情報DB111は、利用者の属性等に関する情報（利用者情報）を格納する利用者情報格納手段である、この利用者情報は、例えば、利用者を一意に識別するための利用者ID、利用者の認証を行うための利用者パスワード、利用者についての、氏名、住所、電話番号、電子メールアドレス、年齢、性別、職業、および、利用者が保有しているカードを一意に識別するためのカードIDを相互に関連付けて構成されている。

【 0 1 4 3 】

また、グループ情報DB112は、利用者によって構成されるグループに関し、当該グループを構成する利用者を特定等するための情報（グループ情報）を格納するグループ情報格納手段である。このグループ情報は、例えば、各グループを一意に識別するためのグループID、各グループを構成する各利用者の利用者ID、各グループの説明情報（グループの趣旨やPR情報を含んだテキスト情報や画像情報等）、各グループの利用者の中から当該グループの代表者を識別するための代表者識別情報、各グループを構成する各利用者のポイントの中からグループポイントとすべきポイントを特定するための情報（グループポイント特定情報）を相互に関連付けて構成されている。

【 0 1 4 4 】

なお、本実施の形態において、代表者識別情報としては、代表者として選定された利用者の利用者IDを用い、グループポイント特定情報としては、各グループを構成する各利用者のポイントの中から、当該グループのポイントとして算定すべきポイントの割合を特定するための情報（ポイント割合情報）を用いるものとする。

【 0 1 4 5 】

また、カード情報DB113は、利用者が保有しているカードに関する情報（カード情報）を格納するカード情報格納手段である。このカード情報は、例えば、各利用者の利用者ID、各利用者が保有しているカードのカード番号、各カードを発行したカード会社を一意に特定するためのカード会社ID、各カードの有効期限、各カードを利用することにより各カードの利用者に付与されているポイント（本システムにて付与されたポイントを含む）を相互に関連付けて構成されている。

【 0 1 4 6 】

また、カード会社情報DB114は、各カード会社に関する情報（カード会社情報）を格納するカード会社情報格納手段である。このカード会社情報は、例えば、カード会社を一意に識別するためのカード会社ID、カード会社の会社名、住所、アクセス先情報を相互に関連付けて構成されている。ここで、アクセス先情報とは、各カード会社の個別管理サーバ200と通信する際における通信先を特定するための情報であり、例えば、HTTP（Hypertext Transfer Protocol）接続で取得する個別管理サーバ200内の特定ファイ

10

20

30

40

50

ルのURL (Uniform Resource Locator) を用いることができる。

【0147】

また、特典情報DB115は、利用者が自己のポイントやグループポイントと交換することのできる特典であって、各カード会社が提供する特典に関する情報(特典情報)を格納する特典情報格納手段である。この特典情報は、例えば、各カード会社のカード会社ID、各カード会社が提供する特典を一意に識別するための特典ID、各特典の内容情報(各特典の名称、画像データ等)、各特典を得るために必要なポイントまたはグループポイントを相互に関連付けて構成されている。

【0148】

また、共通特典情報DB116は、利用者が自己の共通ポイントと交換することのできる共通特典に関する情報(共通特典情報)を格納する共通特典情報格納手段である。この共通特典情報は、例えば、各共通特典を一意に識別するための共通特典ID、各特典の内容情報(各特典の名称、画像データ等)、各共通特典を得るために必要な共通ポイントを相互に関連付けて構成されている。

10

【0149】

また、組合せ特典情報DB117は、利用者が保有する各カードの種類と、利用者が各カードを利用することにより当該利用者に付与されたポイントとの組合せに応じて、当該利用者が取得可能な特典を特定するための情報(組合せ特典情報)を格納する組合せ特典情報格納手段である。この組合せ特典情報としては、例えば、各共通特典の共通特典ID、各共通特典を得るために必要なカードの種類とポイントとの組合せ、を相互に関連付けて構成されている。

20

【0150】

また、特典取得履歴情報DB118は、利用者が本システムを介して取得した特典の履歴に関する情報(特典取得履歴情報)を格納する特典取得履歴情報格納手段である。この特典取得履歴情報は、例えば、特典を取得した各利用者の利用者ID、各利用者が取得した特典の特典IDまたは共通特典ID、各利用者が特典と交換したポイントまたは共通ポイント、各利用者が特典または共通特典を取得した日時を相互に関連付けて構成されている。

【0151】

また、キャンペーン情報DB119は、各カード会社が展開するキャンペーンに関する情報(キャンペーン情報)を格納するキャンペーン情報格納手段である。このキャンペーン情報は、例えば、各カード会社のカード会社ID、各カード会社の展開するキャンペーンを一意に識別するためのキャンペーンID、各キャンペーンに応募するための条件(キャンペーン期間、キャンペーンの対象になる利用者の属性等)、各キャンペーンの内容(特定のカード会社のカードへの入会、特別に加算されるポイントの数量等)を相互に関連付けて構成されている。

30

【0152】

また、請求情報DB120は、本システムと各カード会社または各利用者との間の料金請求に関する情報(請求情報)を格納する請求情報格納手段である。この請求情報は、例えば、各カード会社のカード会社IDと、本システムが各カード会社のカード申込み時の手数料として請求する料金、本システムが利用者に共通特典を提供した時に手数料として取得したポイント、本システムから各カード会社に対して請求する請求金額とを相互に関連付けて構成されている。

40

【0153】

また、WebDB121は、クライアント装置300等に送信すべきWebページの画面データや音声データを格納するWeb情報格納手段である。この画面データは、例えば、HTML(Hypertext Markup Language)、あるいは、XML(Extensible Markup Language)にて記述され格納されている。その他、Webデータには、必要に応じて、音声データをWAVE形式やAIFF形式の如き音声ファイルで格納したり、静止画や動画をJPEG形式やMPEG2形式の如き画像ファイルで格納することができる。

50

## 【 0 1 5 4 】

また、図 2 において、通信制御部 1 3 0 は、統括管理サーバ 1 0 0 とインターネット 4 0 0（またはルータ等の通信装置）との間における通信を制御する通信制御手段であり、請求の範囲における受信手段および送信手段を構成する。

## 【 0 1 5 5 】

また、図 2 において、制御部 1 4 0 は、統括管理サーバ 1 0 0 の各部を制御する制御手段であり、機能概念的に、情報更新処理部 1 4 1、登録処理部 1 4 2、認証処理部 1 4 3、ポイント処理部 1 4 4、提示情報決定部 1 4 5、および、請求処理部 1 4 6 を備えて構成されている。

## 【 0 1 5 6 】

このうち、情報更新処理部 1 4 1 は、個別管理サーバ 2 0 0 から定期的に情報を取得して、統括管理サーバ 1 0 0 の各 DB に格納される情報の更新を行う情報更新処理手段である。

また、登録処理部 1 4 2 は、利用者の各種情報の登録を処理する登録処理手段であり、機能概念的に、カード申込み処理部 1 4 2 a、会員登録処理部 1 4 2 b、および、グループ登録処理部 1 4 2 c を備えて構成されている。このカード申込み処理部 1 4 2 a は、カードの申込みを行うための所定の処理を行うカード申込み処理手段である。また、会員登録処理部 1 4 2 b は、利用者が本システムの会員登録を行うための所定の処理を行う会員登録処理手段である。また、グループ登録処理部 1 4 2 c は、利用者がグループ登録を行うための所定の処理を行い、必要に応じて、代表者識別情報をグループ情報 DB 1 1 2 に格納するグループ登録処理手段である。

## 【 0 1 5 7 】

また、認証処理部 1 4 3 は、利用者が本システムにログインする際の認証処理を行う認証処理手段である。

また、ポイント処理部 1 4 4 は、カードのポイントに関する処理を行うポイント処理手段であり、機能概念的に、共通ポイント変換部 1 4 4 a およびグループポイント算定部 1 4 4 b を備えて構成されている。この共通ポイント変換部 1 4 4 a は、各カードのポイントを共通ポイントに変換する共通ポイント変換手段である。また、グループポイント算定部 1 4 4 b は、グループに属する特定の利用者が利用可能なグループポイントを算定するグループポイント算定手段である。

## 【 0 1 5 8 】

また、提示情報決定部 1 4 5 は、利用者またはカード会社に対して提示する情報を決定する提示情報決定手段であり、機能概念的に、特典決定部 1 4 5 a、グループランキング決定部 1 4 5 b、シミュレーション部 1 4 5 c、および、傾向分析部 1 4 5 d を備えて構成されている。この特典決定部 1 4 5 a は、利用者が取得可能な特典を決定する特典決定手段である。また、グループランキング決定部 1 4 5 b は、各グループ相互間のランキングを決定するグループランキング決定手段である。また、シミュレーション部 1 4 5 c は、利用者が自己のポイントを利用する際の参照情報を生成するシミュレーション手段である。また、傾向分析部 1 4 5 d は、利用者のカード利用に関する傾向の分析を行い、この分析結果に関する情報を参照情報として生成する傾向分析手段である。

## 【 0 1 5 9 】

また、請求処理部 1 4 6 は、利用者またはカード会社に対する請求処理を行う請求処理手段であり、機能概念的に、申込み手数料取得部 1 4 6 a、共通特典手数料取得部 1 4 6 b、分析手数料取得部 1 4 6 c、および、定期精算部 1 4 6 d を備えて構成されている。この申込み手数料取得部 1 4 6 a は、利用者のカード申込みのための処理が行われた際、当該所定の処理を行うことに関する手数料を、カード会社から取得するための所定の処理を行う申込み手数料取得手段である。また、共通特典手数料取得部 1 4 6 b は、利用者に共通特典を付与することに関する手数料としての所定のポイントを、利用者のポイントから取得するための所定の処理を行う共通特典手数料取得手段である。また、分析手数料取得部 1 4 6 c は、利用者の情報を分析してカード会社に提示することに関する手数料を、当

10

20

30

40

50

該カード会社から取得するための所定の処理を行う分析手数料取得手段である。また、定期精算部 1 4 6 d は、請求処理部 1 4 6 の各部にて取得された手数料を定期的に精算するための処理を行う定期精算処理手段である。

なお、これら各部によって行なわれる処理の詳細については、後述する。

#### 【 0 1 6 0 】

〔システム構成 - 個別管理サーバ 2 0 0 〕

次に、個別管理サーバ 2 0 0 の構成について説明する。図 3 は個別管理サーバ 2 0 0 の要部構成を示すブロック図である。この個別管理サーバ 2 0 0 は、カード会社の情報処理装置であり、格納部 2 1 0、通信制御部 2 2 0、および、制御部 2 3 0 を備えて構成されており、これら各部は任意の通信路を介して通信可能に接続されている。

10

#### 【 0 1 6 1 】

このうち、格納部 2 1 0 は、個別管理サーバ 2 0 0 の各種機能に必要なプログラムおよびデータ等を格納する格納手段（記憶手段）であり、機能概念的に、会社別利用者情報 DB 2 1 1、会社別カード情報 DB 2 1 2、会社別特典情報 DB 2 1 3、会社別キャンペーン情報 DB 2 1 4、受理情報 DB 2 1 5、および、会社別請求情報 DB 2 1 6 を備えて構成されている。

#### 【 0 1 6 2 】

ここで、会社別利用者情報 DB 2 1 1 は、当該個別管理サーバ 2 0 0 を設置するカード会社の発行等するカードの利用者に関する情報（会社別利用者情報）を格納する会社別利用者情報格納手段である、この会社別利用者情報は、例えば、利用者を一意に識別するための利用者 ID、利用者の氏名、住所、電話番号、電子メールアドレス、年齢、性別、職業、利用者が保有しているカードを一意に識別するためのカード ID を相互に関連付けて構成されている。

20

#### 【 0 1 6 3 】

また、会社別カード情報 DB 2 1 2 は、当該個別管理サーバ 2 0 0 を設置するカード会社の発行等するカードに関する情報（会社別カード情報）を格納する会社別カード情報格納手段である。この会社別カード情報は、例えば、各利用者の利用者 ID、各利用者が保有しているカードのカード番号、各カードの有効期限、各カードを利用することにより各カードの利用者に付与されているポイント（本システムにて付与されたポイントを含む）を相互に関連付けて構成されている。

30

#### 【 0 1 6 4 】

また、会社別特典情報 DB 2 1 3 は、利用者がポイントと交換することのできる特典であって、当該個別管理サーバ 2 0 0 を設置するカード会社が提供する特典に関する情報（会社別特典情報）を格納する会社別特典情報格納手段である。この会社別特典情報は、例えば、当該カード会社が提供する特典を一意に識別するための特典 ID、各特典の内容情報（各特典の名称、画像データ等）、各特典を得るために必要なポイントを相互に関連付けて構成されている。

#### 【 0 1 6 5 】

また、会社別キャンペーン情報 DB 2 1 4 は、当該個別管理サーバ 2 0 0 を設置するカード会社が展開するキャンペーンに関する情報（会社別キャンペーン情報）を格納する会社別キャンペーン情報格納手段である。この会社別キャンペーン情報は、例えば、当該カード会社の展開するキャンペーンを一意に識別するためのキャンペーン ID、各キャンペーンに応募するための条件（キャンペーン期間、キャンペーンの対象になる利用者の属性等）、各キャンペーンの内容（特定のカード会社のカードへの入会、特別に加算されるポイントの数量等）を相互に関連付けて構成されている。

40

#### 【 0 1 6 6 】

また、受理情報 DB 2 1 5 は、統括管理サーバ 1 0 0 から受理された各利用者に関する分析情報（受理情報）を格納する受理情報格納手段である。この受理情報は、例えば、各利用者間の加入カード毎の類似属性に関する情報、各グループを構成する利用者間の類似属性に関する情報を含んで構成されている。

50

## 【 0 1 6 7 】

また、会社別請求情報 D B 2 1 6 は、本システムから当該カード会社に対して行う請求に関する情報（会社別請求情報）を格納する会社別請求情報格納手段である。この会社別請求情報は、例えば、本システムが当該カード会社へのカード加入時の手数料として取得したポイント、本システムから当該カード会社に対して請求する請求金額とを相互に関連付けて構成されている。

## 【 0 1 6 8 】

また、図 3 において、通信制御部 2 2 0 は、個別管理サーバ 2 0 0 と、インターネット 4 0 0（またはルータ等の通信装置）との間における通信制御を行う通信手段である。

## 【 0 1 6 9 】

また、図 3 において、制御部 2 3 0 は、個別管理サーバ 2 0 0 の各部を制御する制御手段であり、機能概念的に、情報更新処理部 2 3 1、カード認証処理部 2 3 2、ポイント照会処理部 2 3 3、分析情報受理部 2 3 4、請求情報受理部 2 3 5 を備えて構成されている。

## 【 0 1 7 0 】

このうち、情報更新処理部 2 3 1 は、統括管理サーバ 1 0 0 に対して供給すべき情報に関する処理を行うための情報更新処理手段である。また、カード認証処理部 2 3 2 は、統括管理サーバ 1 0 0 からカードの認証要求を受けた場合に、当該カードの認証可否を判断等するカード認証処理手段である。また、ポイント照会処理部 2 3 3 は、統括管理サーバ 1 0 0 からポイントの取得要求を受けた場合に、このポイントを特定するための情報を送信等するポイント照会処理手段である。また、分析情報受理部 2 3 4 は、統括管理サーバ 1 0 0 から利用者の分析情報を受理する分析情報受理手段である。そして、請求情報受理部 2 3 5 は、統括管理サーバ 1 0 0 から請求情報を受理する請求情報受理手段である。

なお、これら各部によって行なわれる処理の詳細については、後述する。

## 【 0 1 7 1 】

## 〔システム構成 - クライアント装置 3 0 0 〕

次に、クライアント装置 3 0 0 の構成について説明する。図 4 はクライアント装置 3 0 0 の要部構成を示すブロック図である。このクライアント装置 3 0 0 は、利用者の情報処理装置であり、概略的には、R A M (Random Access Memory) 3 1 0、H D (Hard Disk) 3 2 0、入力装置 3 3 0、出力装置 3 4 0、入出力制御 I F 3 5 0、通信制御部 3 6 0、および、制御部 3 7 0 を備えて構成されており、これら各部がバスを介してデータ通信可能に接続されている。

## 【 0 1 7 2 】

このうち、R A M 3 1 0 は、クライアント装置 3 0 0 の各部を制御するために必要になるプログラムおよびデータを揮発的に記憶する記憶手段である。

また、H D 3 2 0 は、クライアント装置 3 0 0 の各部を制御するために必要になるプログラムおよびデータを不揮発的に記憶する記憶手段である。

## 【 0 1 7 3 】

また、入力装置 3 3 0 は、各種の情報の入力を受付ける入力手段であり、キーボード 3 3 1、および、マウス 3 3 2 を備えて構成されている。

また、出力装置 3 4 0 は、各種の情報をクライアント装置 3 0 0 から出力する出力手段であり、モニタ 3 4 1 を備えて構成されている。

## 【 0 1 7 4 】

また、入出力制御 I F 3 5 0 は、これら入力装置 3 3 0 および出力装置 3 4 0 によるデータの入出力を制御する。

また、通信制御部 3 6 0 は、入力装置 3 3 0 を介して入力された各種の情報を、統括管理サーバ 1 0 0 に送信する送信手段であり、クライアント装置 3 0 0 とインターネット 4 0 0（または L A N スイッチ等の通信装置）との間における通信制御を行う。

## 【 0 1 7 5 】

また、制御部 3 7 0 は、クライアント装置 3 0 0 の各部を制御する制御手段であり、機能概念的に、W e b ブラウザ 3 7 1 を備えて構成されている。

このWebブラウザ371は、基本的には、必要な情報をインターネット400を介して統括管理サーバ100等から取得し、この情報を解釈してモニタ341に表示し、さらには、必要な情報を統括管理サーバ100等に送信するWebデータの送受信および解析手段である。

なお、このWebブラウザ371の機能は、例えば、このWebブラウザ371を実質的に構成するプログラムがHD320に記憶され、実行時にRAM310にロードされて、制御部370にて解釈および実行されることにより実現される。

#### 【0176】

〔処理の内容〕

次に、このように構成された本システムを用いて行なわれる処理の内容について説明する。

10

この処理は、(1)利用者がカード会社のカード会員になるためのカード申込み処理、(2)利用者が本システムの会員になるための会員登録処理、(3)利用者グループ登録を行うためのグループ登録処理、(4)利用者が自己のカードのポイント等の確認や特典の交換を行うためのポイント交換処理、(5)各カード会社へ情報を提供するための傾向分析処理、(6)各カード会社への手数料請求を行うための請求処理に大別される。

以下、これら各処理について順次説明する。

#### 【0177】

ここで、各処理の前提として、特記する場合を除き、統括管理サーバ100および個別管理サーバ200の各DBには、それぞれの情報が任意の方法にて予め格納されているものとする。

20

また、個別管理サーバ200の会社別利用者情報DB211、会社別カード情報DB212、会社別特典情報DB213、および、会社別キャンペーン情報DB214には、利用者が従来と同様の任意の方法でカードに加入した際や、各カード会社の特典やキャンペーンの内容が変更された場合等に、本システムとは別個の任意の処理システムを用いて自動的に、あるいは、各カード会社の担当者が図示しない任意の端末装置を用いて手動的に、各々の情報を格納することができる。

#### 【0178】

そして、これら個別管理サーバ200の各DBに格納された情報は、統括管理サーバ100の情報更新処理部141から個別管理サーバ200の情報更新処理部231に対して所定タイミングで定期的な送信要求が行われることによって、統括管理サーバ100に送信され、この統括管理サーバ100の利用者情報DB、カード情報DB113、特典情報DB115、および、キャンペーン情報DB119に格納される。ただし、これら統括管理サーバ100の各DBに格納される情報は、個別管理サーバ200から必要に応じてインターネット400を介して受信するようにしてもよく、この場合には、これら統括管理サーバ100の各DBを省略することができる。

30

#### 【0179】

また、上記(1)～(6)の各処理の開始タイミングは、特記する場合を除いて任意であるが、本実施の形態においては、(1)カード申込み処理および(2)会員登録処理は、基本的に、統括管理サーバ100から提供されクライアント装置300のモニタ341に表示される初期画面を起点として行われるものとする。また、(3)グループ登録処理および(4)ポイント交換処理は、基本的に、初期画面からシステムログインすることでモニタ341に表示される会員用画面を起点として行われるものとする。なお、(5)傾向分析処理および(6)請求処理は、所定タイミングで自動的に起動されるものとする。

40

#### 【0180】

〔処理の内容 - カード申込み処理〕

最初に、カード申込み処理について説明する。この処理のフローチャートを図5に示す。例えば、利用者(以下、本システムを利用している利用者を必要に応じて、当該利用者と呼ぶ)が、クライアント装置300のWebブラウザ371を起動し、初期画面に対応したURLを入力装置330を介して入力することによって画面データの送信要求を行う

50

と、統括管理サーバ100のWebDB121に格納されている初期画面の画面データが呼び出されてクライアント装置300に送信され、この画面データがWebブラウザ371にて解釈されてモニタ341に初期画面が表示される（これ以降に説明する各画面についても、同様にWebブラウザ371にて解釈されモニタ341に表示されるものとする）。

#### 【0181】

この初期画面を図12に例示する。この図12に示すように、初期画面は、カード申込みボタンMA-1、会員登録申込みボタンMA-2、会員用画面選択ボタンMA-3、各種関連情報（各カード会社の個別のWebサイト等）へのリンクボタンMA-4を備えて構成されている。

10

この初期画面において利用者がカード申込みボタンMA-1を選択すると、本処理が開始される。すなわち、クライアント装置300から統括管理サーバ100に対して、カード申込み要求が送信される（ステップSA-1）。

#### 【0182】

この要求を受けた統括管理サーバ100のカード申込み処理部142aは、カード会社選択画面の画面データをWebDB121から呼び出してクライアント装置300に送信する（ステップSA-2）。この結果、モニタ341にカード会社選択画面が表示される（ステップSA-3）。この画面は、利用者がカードを申込みたいカード会社を選択するための画面であり、図示は省略するが、本システムと提携している複数のカード会社のいずれかを選択するための選択欄を含んで構成されている。そして、利用者が選択欄を用いてカード会社を選択すると、選択されたカード会社を特定するための情報が統括管理サーバ100に送信される（ステップSA-4）。

20

#### 【0183】

この選択情報を受けた統括管理サーバ100のカード申込み処理部142aは、選択されたカード会社との間において予め取り決めた申込み方法に基づく処理を行う（ステップSA-5）。

例えば、選択されたカード会社が自社のWebサイト上でカード申込みを受付ける場合には、当該カード会社のWebサイト内の所定のWebページへの転送を行う（ステップSA-6）。この転送は、例えば、上記カード会社選択画面の当該カード会社の選択欄に、当該カード会社のWebページへのハイパーリンクを設定しておくことによって行ってもよい。その後、利用者は、当該カード会社が開設するWebサイトにおいて、カードの入会申込みを行うことができる（ステップSA-7）。

30

#### 【0184】

あるいは、選択されたカード会社が郵送で申込みを受付ける場合、カード申込み処理部142aは、申込み書を利用者に郵送するために必要になる利用者情報が本システム側で既に取得されているか否かを判断する（ステップSA-8）。そして、未だ利用者情報が取得されていない場合には、利用者情報入力画面の画面データをWebDB121から呼び出してクライアント装置300に送信する（ステップSA-9）。この結果、モニタ341に利用者情報入力画面が表示される（ステップSA-10）。この画面は、当該利用者の利用者情報を取得するための画面であり、図示は省略するが、例えば、利用者の氏名や住所等の利用者情報を入力するための入力欄と、利用者情報の送信を指示するための送信ボタンとを備えて構成されている。そして、利用者が、必要な情報を入力して送信ボタンを選択すると、入力された利用者情報が統括管理サーバ100に送信される（ステップSA-11）。

40

#### 【0185】

この利用者情報を受けた統括管理サーバ100のカード申込み処理部142aは、この利用者情報を用いてカード入会申込み書を自動印刷すると共に当該利用者に配送し、あるいは、この利用者情報を当該利用者によって選択されたカード会社に対して送信する（ステップSA-12）。その後、利用者とはカード会社との間で、所定方法によるカード入会の申込みが行われる（ステップSA-7）。

50

## 【 0 1 8 6 】

その後、請求処理部 1 4 6 の申込み手数料取得部 1 4 6 a は、利用者がカードを申込んだカード会社に対して所定の手数料を請求するため、請求情報 D B 1 2 0 の請求情報を更新する（ステップ S A - 1 3）。例えば、請求情報 D B 1 2 0 における当該カード会社のカード会社 I D に対応する請求金額を所定金額だけ増分する。そして、後述する請求処理において、この請求金額に基づいて各カード会社に費用請求を行い、カード申込みの手数料を徴収する。

これにて本処理が終了する。

## 【 0 1 8 7 】

〔処理の内容 - 会員登録処理〕

次に、会員登録処理について説明する。この処理のフローチャートを図 6 に示す。

利用者が図 1 2 の初期画面において会員登録申込みボタン M A - 2 を選択すると、本処理が開始される。すなわち、クライアント装置 3 0 0 から統括管理サーバ 1 0 0 に対して、会員登録申込み要求が送信される（ステップ S B - 1）。

## 【 0 1 8 8 】

この要求を受けた統括管理サーバ 1 0 0 の会員登録処理部 1 4 2 b は、会員登録申込み画面の画面データを W e b D B 1 2 1 から呼び出してクライアント装置 3 0 0 に送信する（ステップ S B - 2）。

この結果、モニタ 3 4 1 に会員登録申込み画面が表示される（ステップ S B - 3）。この画面は、利用者が本システムに会員登録するために必要な情報を入力するための画面であり、図 1 3 に例示するように、当該利用者の氏名等の利用者情報を入力するための入力欄 M B - 1 と、当該利用者が保有しているカードのカード情報を入力するための入力欄 M B - 2 と、会員登録申込みを指示する会員登録申込みボタン M B - 3 とを含んで構成されている。そして、利用者が必要な情報を入力して会員登録申込みボタン M B - 3 を選択すると、入力された情報が統括管理サーバ 1 0 0 に送信される（ステップ S B - 4）。

## 【 0 1 8 9 】

この情報を受けた統括管理サーバ 1 0 0 の会員登録処理部 1 4 2 b は、送信されたカード情報に基づいて、当該利用者が保有するカードの正当性の認証を行う。例えば、送信されたカード情報に含まれるカード会社名に基づいてカード会社情報 D B 1 1 4 を参照し、対応するアクセス先情報を取得する。そして、このアクセス先情報にて指定される個別管理サーバ 2 0 0 に対して、クライアント装置 3 0 0 から送信されたカード情報を送信し、このカードの正当性の認証を求める（ステップ S B - 5）。

## 【 0 1 9 0 】

この送信を受けた個別管理サーバ 2 0 0 のカード認証処理部 2 3 2 は、カードの認証可否を判断する。例えば、統括管理サーバ 1 0 0 から送信されたカード情報に含まれる利用者の氏名およびカード番号が、自己の会社別利用者情報 D B 2 1 1 に格納されている会社別利用者情報および会社別カード情報 D B 2 1 2 に格納されている会社別カード情報の組合せに合致するか否かを判断し、合致する場合にのみ、カードを認証可と判断する。そして、この判断結果を示す情報を統括管理サーバ 1 0 0 に送信する（ステップ S B - 6）。

## 【 0 1 9 1 】

この判断結果を受けた統括管理サーバ 1 0 0 の会員登録処理部 1 4 2 b は、カードが認証されなかった場合には、所定のエラー画面の画面データを W e b D B 1 2 1 から取得してクライアント装置 3 0 0 に送信する（ステップ S B - 7、S B - 8）。そして、このエラー画面がモニタ 3 4 1 に表示されると（ステップ S B - 9、S B - 1 0）、ステップ S B - 3 等に移行し、カード番号の訂正等を行うことができる。

## 【 0 1 9 2 】

一方、カードが認証された場合、会員登録処理部 1 4 2 b は、利用者 I D を任意の方法（例えば、連番）にて発行する（ステップ S B - 1 1）。そして、この利用者 I D と先にクライアント装置 3 0 0 から送信された利用者情報とを相互に関連付けて利用者情報 D B 1 1 1 に格納すると共に、この利用者 I D と先にクライアント装置 3 0 0 から送信されたカ

10

20

30

40

50

ード情報とを相互に関連付けてカード情報DB113に格納する(ステップSB-12)。

#### 【0193】

その後、会員登録処理部142bは、申込み完了画面の画面データを生成し、この画面データをクライアント装置300に送信する(ステップSB-13)。例えば、このような画面データの生成は、CGI(Common Gateway Interface)を用いて行うことができる。この結果、モニタ341に申込み完了画面が表示される(ステップSB-9、SB-14)。この申込み完了画面は、申込みの結果および利用者IDを利用者に通知するための画面であり、図示は省略するが、例えば、先に発行された利用者IDと、グループ登録の要否を指定するためのグループ登録ボタンとを含んで構成されている。そして、利用者は、グループ登録を行う場合には、グループ登録ボタンを選択する。すると、グループ登録の要求が統括管理サーバ100に送信され(ステップSB-15、SB-16)、後述するグループ登録処理に移行する(ステップSB-17)。

これにて本処理が終了する。

#### 【0194】

〔処理の内容 - グループ登録処理〕

次に、グループ登録処理について説明する。この処理のフローチャートを図7に示す。

まず、利用者は、上述の会員登録処理において会員登録を行った後、図12の初期画面において会員用画面選択ボタンMA-3を選択する。すると、会員用画面要求が統括管理サーバ100に送信され、統括管理サーバ100の認証処理部143とクライアント装置300との間において所定のログイン認証処理が行われる。

この認証処理自体は公知の処理と同様に行うことができるためにその詳細な説明は省略するが、例えば、利用者が図14に例示するログイン画面に利用者IDおよび利用者パスワードを入力して送信を指示すると、統括管理サーバ100の認証処理部143が、送信された情報が利用者情報に格納された利用者IDおよび利用者パスワードの組合せに一致するか否かを判断し、一致する場合にのみ認証可と判断する。

#### 【0195】

そして、認証可の場合には、当該利用者の利用者IDに基づいてカード情報DB113を参照することにより、当該利用者が保有するカードのカード情報を取得する。また、当該利用者の利用者IDに基づいてグループ情報を参照することにより、当該利用者が属するグループのグループ情報を取得する。そして、これらカード情報およびグループ情報に基づいて会員用画面の画面データを生成して、この画面データをクライアント装置300に送信する。

#### 【0196】

この結果、モニタ341に会員用画面が表示される。この画面は、本システムに会員として登録されている利用者が、自己の保有しているカードや属しているグループの状況を把握すると共に、会員用のサービス要求を行うための起点になる画面であり、例えば、図15に例示するように、当該利用者が保有するカードの名称MC-1、各カードを利用することにより付与されているポイントMC-2、各カードの有効期限MC-3、当該利用者が所属しているグループの名称MC-4や代表者が使用できるグループポイントMC-5、新たなグループ登録を要求するためのグループ登録ボタンMC-6、ポイント交換を要求するためのポイント交換ボタンMC-7、および、自己が交換を行った特典の配送状況確認を指示するための配送確認ボタンMC-8を含んで構成されている。

そして、利用者がグループ登録ボタンMC-6を選択すると、グループ登録要求が統括管理サーバ100に送信される(ステップSC-1)。

#### 【0197】

この要求を受けた統括管理サーバ100のグループ登録処理部142cは、グループ登録画面の画面データをWebDB121から呼び出して、クライアント装置300に送信する(ステップSC-2)。この結果、グループ登録画面がモニタ341に表示される(ステップSC-3)。

10

20

30

40

50

このグループ登録画面は、利用者が希望するグループ登録の種別を入力するための画面であり、図16に例示するように、新規グループの登録を選択する選択ボタンMD-1と、既登録グループへの登録を選択する選択ボタンMD-2とを含んで構成されている。そして、利用者が選択ボタンMD-1またはMD-2を選択すると、この選択結果を特定するための情報が統括管理サーバ100に送信される(ステップSC-4)。

**【0198】**

この選択結果を受けた統括管理サーバ100のグループ登録処理部142cは、既登録グループへの加入が選択された場合には、これまでに登録されている各グループのグループ情報をグループ情報DB112から取得する(ステップSC-5、SC-6)。

そして、グループランキング決定部145bは、このグループ情報に基づいて、各グループ相互のランキングを決定する(ステップSC-7)。この際の具体的な決定方法は任意であるが、例えば、当該時点において各グループに属している利用者を計数し、この数が多い順に、ランキングを決定する。

**【0199】**

その後、グループ登録処理部142cは、グループランキング決定部145bにて決定されたランキングに関する情報を含んだ既登録グループ選択画面の画面データを生成して、これをクライアント装置300に送信する(ステップSC-8)。この結果、既登録グループ選択画面がモニタ341に表示される(ステップSC-9)。

この画面は、既に登録されているグループのうち、当該利用者が加入を希望するグループを選択等してもらうための画面であり、図17に例示するように、グループ情報から抽出された各グループの名称ME-1と、グループ情報から抽出された各グループの説明情報ME-2と、各グループのランキング情報ME-3と、グループの代表者に付与するポイントの割合を入力するための入力欄ME-4と、利用者が加入を希望するグループを選択する選択ボタンME-5とを含んで構成されている。そして、利用者が必要な情報を入力し、加入したいグループに対応する選択ボタンME-5を選択すると、入力された情報および選択結果が統括管理サーバ100に送信される(ステップSC-10)。

**【0200】**

これらの情報を受けた統括管理サーバ100のグループ登録処理部142cは、当該利用者を、当該利用者が選択したグループに加入させるため、グループ情報の更新を行う(ステップSC-11)。例えば、グループ情報DB112において、当該利用者が選択したグループのグループIDに、当該利用者の利用者IDや、代表者に付与するポイントの割合を示す情報を、関連付けて格納する。これにて、当該利用者をグループ員として登録することができる。

**【0201】**

なお、この際、各グループへの登録可否を審査するようにしてもよい。例えば、各グループへの登録条件(例えば、住所や年齢等の属性や、保有しているカードの種類やそのポイント数等)を各グループ毎にグループ情報DB112に格納しておき、利用者から既登録グループへの登録申込みがあった場合には、この利用者の利用者情報等を、グループ情報DB112の登録条件と照合して、登録可否を自動的に判断するようにして、登録可の場合にのみ上記ステップSC-11の更新を行うようにしてもよい。

**【0202】**

一方、ステップSC-5において、新規グループへの加入が選択されたと判断された場合、グループ登録処理部142cは、新規グループ登録画面の画面データをWebDB121から呼び出して、この画面データをクライアント装置300に送信する(ステップSC-12)。

この結果、モニタ341に新規グループ登録画面が表示される(ステップSC-9)。この画面は、新規グループの登録に必要な情報を当該利用者に入力してもらうための画面であり、図18に例示するように、グループ名を入力するための入力欄MF-1、グループの説明情報を入力するための入力欄MF-2、代表者になる利用者の利用者IDを入力するための入力欄MF-3、および、登録を指示する登録ボタンMF-4を含んで構成され

10

20

30

40

50

ている。そして、利用者が必要な情報を入力して登録ボタンMF - 4を選択すると、入力された情報が統括管理サーバ100に送信される(ステップSC - 10)。

【0203】

これらの情報を受けた統括管理サーバ100のグループ登録処理部142cは、新規グループを登録するため、グループ情報の更新を行う(ステップSC - 11)。例えば、新しいグループIDを任意の方法で発行した後、このグループIDと、クライアント装置300から送信されたグループの説明情報および代表者になる利用者の利用者IDと、当該利用者の利用者IDとを、相互に関連付けてグループ情報DB112に格納する。これにて、新規グループを登録することができると共に、この新規グループに当該利用者を登録することができる。

10

【0204】

特に、グループ登録処理部142cは、代表者になる利用者の利用者IDと、当該利用者の利用者IDとが相互に一致するか否かに関わらず、代表者になる利用者の利用者IDの格納を行う。したがって、当該利用者は、代表者として選定された利用者の意思に関わらず、任意の利用者を代表者に選定してグループを登録することができる。

ただし、代表者として選定された利用者の同意が得られた場合にのみ、この利用者を代表者として登録できるようにしてもよい。例えば、代表者として選定された利用者の利用者情報を参照して、この代表者に電子メールを送信し、この電子メールに対する所定の応答があった場合にのみ、代表者の利用者IDをグループ情報DB112に格納する。

【0205】

その後、グループ登録処理部142cは、グループID通知画面の画面データを生成して、これをクライアント装置300に送信する(ステップSC - 13)。

この結果、モニタ341にグループID通知画面が表示される(ステップSC - 14)。この画面は、当該利用者が登録されたグループのグループIDを当該利用者に通知等するための画面であり、図19に例示するように、当該利用者がグループに登録された旨に加えて、グループのグループ名MG - 1、グループIDMG - 2、図15の会員用画面へのリンクボタンMG - 3を含んで構成されている。

20

【0206】

その後、グループ登録処理部142cは、当該利用者が登録したグループの代表者に対して、グループID等を通知するための電子メールを送信する(ステップSC - 15)。

例えば、当該利用者が既登録済みのグループに加入した場合、このグループの代表者の電子メールアドレスを、グループ情報DB112および利用者情報DB111を参照して取得し、この電子メールアドレスを宛先とし、利用者が新規に加入した旨と、この加入した利用者の利用者情報とを内容とする電子メールデータを生成して、SMTP(Simple Mail Transfer Protocol)にて送信する。そして、代表者は、この電子メールを任意のタイミングで受信して閲覧することにより、自己が代表を務めるグループに、新規の利用者が加入した旨を把握することができる。

30

【0207】

あるいは、当該利用者が新規グループを登録した場合において、当該利用者以外の他の利用者が代表者として選定された場合には、この代表者の電子メールアドレスを、グループ情報DB112および利用者情報DB111を参照して取得し、この電子メールアドレスを宛先とし、新規グループの代表者として選定された旨や、このグループの説明情報およびグループID、および、当該利用者の利用者情報とを内容とする電子メールデータを生成して送信する。そして、代表者は、この電子メールを任意のタイミングで受信して閲覧することにより、自己がグループの代表者に選定された旨や、このグループや当該利用者の情報を把握することができる。

40

これにて本処理が終了する。

【0208】

〔処理の内容 - ポイント交換処理〕

次に、ポイント交換処理について説明する。この処理のフローチャートを図8に示す。

50

利用者が、グループ登録処理の場合と同様に初期画面から認証処理を経て図15の会員用画面を表示させ、この会員用画面においてポイント交換ボタンMC-7を選択すると、本処理が開始される。すなわち、クライアント装置300から統括管理サーバ100に対して、ポイント交換要求が送信される(ステップSD-1)。

【0209】

この要求を受けた統括管理サーバ100のポイント処理部144は、その時点において当該利用者の各カードに付与されているポイントを確認する。例えば、認証処理時に取得した当該利用者の利用者IDに基づいてカード情報DB113を参照し、当該利用者が保有しているカードのカード情報を取得する。そして、このカード情報に含まれるカード会社IDに基づいてカード会社情報DB114を参照することにより、各カード会社のアクセス先情報を取得する。そして、このアクセス先情報にて特定される各アクセス先に、上記取得したカード情報を送信してポイント情報の送信要求を行う(ステップSD-2)。

10

【0210】

また、この時、利用者IDに基づいてグループ情報DB112を参照することにより、当該利用者が代表者になっているグループがあるか否かを判断する。そして、このようなグループがある場合には、このグループのポイント情報を取得するため、このグループに属している各利用者に関しても、上記と同様にポイント情報の送信要求を行う。

【0211】

この要求を受けた個別管理サーバ200のポイント照会処理部233は、送信されたカード情報に基づいて会社別カード情報DB212を参照し、対応する最新のポイントを特定するための情報を統括管理サーバ100に送信する(ステップSD-3)。

20

また、統括管理サーバ100のポイント処理部144は、当該利用者や、当該利用者が代表者になっているグループの他の利用者が、同日にポイント交換処理を行ったか否かを判断する(ステップSD-4)。これは、ポイント交換処理で交換されたポイントの請求処理を、所定単位(例えば、各営業日の終了時点)で一括バッチ処理で行うことを前提としているため、同日に既にポイント交換処理が行われている場合には当該ポイント交換処理に対応した情報更新が完了しておらず、上記個別管理サーバ200から取得したポイントがポイント交換処理前のポイントのままである可能性が存在するからである。

【0212】

このため、ポイント処理部144は、例えば、当該利用者やグループの他の利用者の利用者IDに基づいて特典取得履歴情報DB118を参照し、この利用者IDに対応する同日付けの特典取得履歴情報があるか否かを判断する。そして、このような特典取得履歴情報がある場合には、同日にポイント交換処理を行ったものと判断し、この特典取得履歴情報の内容から交換済みのポイントを特定して、この交換済みのポイントを、ステップSD-3において個別管理サーバ200から送信された最新のポイントから減算する(ステップSD-5)。

30

【0213】

その後、ポイント処理部144は、当該利用者が代表者になっているグループがある場合には、このグループのグループポイントを算定する(ステップSD-6)。例えば、グループの各利用者のグループポイント特定情報をグループ情報DB112から取得し、このグループポイント特定情報に基づいて、代表者である当該利用者が使用可能なグループポイントを算定する。例えば、グループに属する他の利用者Aが100ポイント保有しており、グループポイント特定情報が10%である場合には、10ポイント(=100/10)がグループポイントと算定される。

40

【0214】

次に、ポイント処理部144は、当該利用者のポイントおよびグループポイントに基づいて、共通ポイントを算定する(ステップSD-7)。例えば、当該利用者が、A社のカードで100ポイント、B社のカードで200ポイント持っており、A社のカードのポイントから共通ポイントへの変換レートが1:1、B社のカードのポイントから共通ポイントへの変換レートが2:1の場合、共通ポイントは200ポイント(=(100/1)ポイ

50

ント + (200 / 2) ポイント) と算定される。また、同様に、上記ステップ S D - 6 で算定したグループポイントを変換レートに基づいて共通のポイントに変換する。

【0215】

ここで、変換レートの決定方法は任意であるが、例えば、各カードにおいてポイントを取得するために必要なカード決済金額等に基づいて、各カード毎に変換レートを固定的に決めておくこともできる。あるいは、各カードの人気度等に基づいて変換レートを変動的に決めてもよい。

【0216】

次いで、ポイント処理部 144 は、特典情報を特典情報 DB 115 から取得すると共に、共通特典情報を共通特典情報 DB 116 から取得して (ステップ S D - 8)、当該利用者が取得可能な特典および共通特典を選定する (ステップ S D - 9)。

例えば、特典情報と、ステップ S D - 3 において取得したポイント (あるいは、必要に応じてステップ S D - 5 において減算したポイント、または、S D - 6 で算定したグループポイント) とに基づいて、当該利用者が交換可能な特典を選定する。また、共通特典情報と、ステップ S D - 7 において算定した共通ポイントとに基づいて、共通ポイントとして交換可能な特典を選定する。

【0217】

例えば、当該利用者の共通ポイントが 100 ポイントであり、共通特典である商品 G 1 に交換するための必要ポイントが 50、商品 G 2 に交換するための必要ポイントが 100、商品 G 3 に交換するための必要ポイントが 150 と規定されている場合には、商品 G 1 および商品 G 2 を交換可能な特典であると選定する。

ただし、共通特典の選定時に先立って、共通ポイントから、本システムの手数料としての所定のポイントを減算する。例えば、当該利用者の共通ポイントが 100 ポイントであっても、手数料になるポイントが 10 ポイントである場合には、実際に交換可能なポイントを 90 ポイント (= 100 - 10) と算定し、この 90 ポイントを基準として特典を選定する。

【0218】

また、ポイント処理部 144 は、組合せ特典情報 DB 117 から組合せ特典情報を取得し (ステップ S D - 10)、この組合せ特典情報と、当該利用者が保有するカードの種類およびそのポイントとに基づいて、カードの種類とポイントとの組合せによって当該利用者が取得可能な特典を選定する (ステップ S D - 11)。例えば、当該利用者が、A 社のカードで 100 ポイント、B 社のカードで 200 ポイント持っており、組合せ特典情報により、A 社のカード 50 ポイント以上と B 社のカード 100 ポイント以上の組合せで商品 G 100 に交換可能であると規定されている場合には、商品 G 100 を選定する。

【0219】

次に、シミュレーション部 145 c は、各カード会社が展開するキャンペーンに当該利用者が応募できるか否かを判断し、応募できない場合には、不足している条件を特定して、この不足している条件を当該利用者に提示する参照情報とする (ステップ S D - 12)。具体的には、まず、会社別キャンペーン情報 DB 214 から各キャンペーンに応募するための条件を取得すると共に、利用者情報 DB 111 から当該利用者の利用者情報、カード情報 DB 113 から当該利用者の保有するカードのカード情報をそれぞれ取得する。

【0220】

そして、利用者情報またはカード情報に基づいて、各キャンペーンに応募するための条件が満たされているか否かを判断する。例えば、各キャンペーンに応募するための条件として、「A 社のカードのポイントが 1000 点以上」であること、が規定されている場合において、カード情報によって当該利用者の A 社のカードのポイントが 900 点である場合には、応募するための条件が満たされていないと判断する。そして、この場合、不足するポイントが 100 点 (= 1000 - 900) であると判断し、この「不足ポイント = 100 点」という情報を、参照情報とする。

【0221】

10

20

30

40

50

また、シミュレーション部 145c は、当該利用者のカードの種類とポイントとの組合せが、組合せ情報 DB に格納された組合せが合致するか否かを判断し、合致しない場合には、不足している条件を特定して、この不足している条件を当該利用者に提示する参照情報とする（ステップ SD - 13）。具体的には、まず、上記ステップ SD - 11 と同様に、当該利用者が A 社のカードのみを保有しており、特典を取得できる組合せが、A 社および B 社のカードを保有していることであると規定されている場合には、組合せが合致しないと判断する。そして、この場合、不足する条件が「B 社のカードを保有していること」とであると判断する。そして、このように、当該利用者が特定のカード会社のカードを保有していないために、特典を取得できる組合せに合致しない場合には、当該カードへの申込みに関する情報（例えば、上記当該カード会社への入会申込みを指示する入会申込みボタンへのリンク情報）を参照情報とする。

10

**【0222】**

そして、ポイント処理部 144 は、ステップ SD - 9 において選定された特典の内容情報と、ステップ SD - 12 および SD - 13 のシミュレーションによって決定された参照情報とを含んだポイント交換画面の画面データを生成し、これを当該利用者のクライアント装置 300 に送信する（ステップ SD - 14）。

**【0223】**

この結果、モニタ 341 にポイント交換画面が表示される（ステップ SD - 15）。この画面は、当該利用者に対して、ポイントと交換可能な特典の情報やキャンペーン情報等を通知するための画面であり、図 20 に例示するように、交換可能な特典および共通特典の内容 MH - 1、交換を指示する交換ボタン MH - 2、キャンペーンに応募する際の不足ポイント MH - 3、組合せによって特典を取得するために入会すべきカード会社への入会申込みを指示する入会申込みボタン MH - 4、再シミュレーションを行いたい場合のポイントを入力する入力欄 MH - 5、再シミュレーションを指示するシミュレーションボタン MH - 6 を含んで構成されている。

20

**【0224】**

ここで、少なくとも、共通ポイントと交換することのできる特典については、特典の内容のみが表示され、当該特典を取得するために必要なポイントについては表示されていない。これは、必要なポイントまで表示した場合には、手数料として本システムが取得するポイントの内容が当該利用者に把握されてしまい、好ましくない場合が考えられるからである。

30

**【0225】**

その後、利用者は、将来的に取得するポイントを含めた場合の特典等をシミュレーションすることができる。具体的には、この将来的に取得するポイントを入力欄 MH - 5 に入力して、シミュレーションボタン MH - 6 を選択すると、このポイントを特定する情報および再シミュレーション要求が統括管理サーバ 100 に送信される（ステップ SD - 16）。

そして、この送信を受けた統括管理サーバ 100 のポイント処理部 144 は、送信された情報が再シミュレーション要求である場合には（ステップ SD - 17）、このポイントを含めて、共通ポイントの算定等を再度行い、新たなポイント交換画面をモニタ 341 に再度表示させる。以降、当該利用者は、このようにシミュレーションを繰り返して行うことができる。

40

**【0226】**

また、利用者は、交換ボタンを選択することによって特典交換を指示することができ、入会申込みボタン MH - 4 を選択することによってカード会社への入会申込みを行うことができる。この選択結果を特定するための情報は、統括管理サーバ 100 に送信される（ステップ SD - 16）。そして、この送信を受けた統括管理サーバ 100 のポイント処理部 144 は、入会申込みボタンが選択された場合には上述したカード申込み処理に移行し、クライアント装置 300 および個別管理サーバ 200 との間でカード申込み処理を行う（ステップ SD - 17 ~ SD - 21）。また、ポイント処理部 144 は、交換ボタンが選択

50

された場合には、後述する特典交換処理に移行し、クライアント装置300との間で特典交換処理を行う(ステップSD-17、SD-18、SD-20~SD-22)。

【0227】

なお、この特典交換処理に先立って、当該利用者の特典交換の意思を最終的に確認するようにしてもよい。例えば、当該利用者の特典交換の意思を最終確認するための確認画面の画面データが生成されてクライアント装置300に送信され、モニタ341に表示される。この画面は、図21に示すように、当該利用者が選択した特典の内容MI-1と、交換を最終的に指示する指示ボタンMI-2とを含んで構成されており、当該利用者が指示ボタンMI-2を選択すると、この選択結果を特定する情報が統括管理サーバ100に送信される。そして、統括管理サーバ100のポイント処理部144は、指示ボタンMI-2が選択された場合のみ、特典交換処理を行うようにしてもよい。

10

【0228】

この特典交換処理において、ポイント処理部144は、図9のフローチャートに示すように、まず当該利用者が選択した特典と、当該特典と交換するポイントとに基づいて、特典取得履歴情報DB118の特典取得履歴情報を更新する(ステップSE-1)。例えば、当該利用者の利用者ID、当該利用者が取得した特典の特典IDまたは共通特典の共通特典ID、当該利用者が特典または共通特典と交換したポイント、当該利用者が特典または共通特典を取得した日時を相互に関連付けて特典取得履歴情報DB118に格納する。

【0229】

そして、ポイント処理部144は、当該利用者のポイントから、上記共通特典を取得するために使用したポイントを減算し、この減算後のポイントを含んだ残ポイント通知画面の画面データを生成して、当該利用者のクライアント装置300に送信する(ステップSE-2)。

20

この結果、モニタ341に残ポイント通知画面が表示される(ステップSE-3)。この画面は、残ポイントを当該利用者に通知するための画面であり、図示は省略するが、残ポイントの表示を含んで構成されている。

なお、利用者のポイントから使用したポイントを減算する際、複数のカードのポイントの中のどのポイントから減算を行うのかは、予め利用者を選択してもらうこともでき、あるいは、均等に減算することもできる。

【0230】

その後、ポイント処理部144は、当該利用者によって取得された特典を配送するため、当該特典が本システムにて提供される特典か否かを判断する(ステップSE-4)。この判断は、配送する特典のIDが、特典情報DB115に格納されている特典IDか、共通特典情報DB116に格納されている共通特典IDかに基づいて行うことができる。

30

【0231】

そして、本システムで提供される特典である場合には、利用者情報DB111から当該利用者の住所等の利用者情報を取得し、この利用者情報に基づいて、システム内の所定の配送部署に所定形式で配送を指示する(ステップSE-5)。

一方、各カード会社によって提供される特典である場合には、当該カード会社のアクセス先情報をカード会社情報DB114から取得し、このアクセス先情報にて特定されるアクセス先に対して、利用者情報DB111から取得した当該利用者の住所等の利用者情報に基づく配送指示を行う(ステップSE-6)。

40

【0232】

そして最後に、共通特典手数料取得部146bは、共通特典が選択されその配送指示を行った場合には、各カード会社に対する課金を行うため、精算情報を更新する(ステップSE-7)。すなわち、上記したように、共通特典の選定時に先立って、共通ポイントから、本システムの手数料として減算したポイントを請求情報DB120に格納する。

これにて本処理が終了する。

【0233】

なお、このような配送指示後、当該利用者は、図15の会員用画面において配送確認ボタ

50

ンMC-8を選択することにより、配送状況を確認することができる。すなわち、ポイント処理部144は、配送状況に関する情報を所定手順で取得して、配送確認画面の画面データを生成し、クライアント装置300に送信する。この結果、モニタ341に配送確認画面が表示される。この画面は、図22に示すように、特典の名称MJ-1と、配送状況に関する情報MJ-2とを含んで構成されている。

#### 【0234】

〔処理の内容 - 傾向分析処理〕

次に、傾向分析処理について説明する。この処理のフローチャートを図10に示す。この処理では、統括管理サーバ100の傾向分析部145dは、任意のタイミングで本処理を実行する。

10

すなわち、まず、傾向分析部145dは、利用者間の加入カード毎の類似属性を抽出する。例えば、傾向分析部145dは、利用者情報DB111の利用者情報およびカード情報DB113のカード情報に基づいて、カード別の複数の利用者情報を取得する(ステップSF-1)。そして、傾向分析部145dは、このカード別の複数の利用者情報のうち、統計的平均から乖離して関連性の高いと思われる属性(特定範囲に偏在している年齢、性別、住所、職業等)を決定する(ステップSF-2)。この決定ロジックとしては公知の統計手法を用いることができる。

#### 【0235】

また、傾向分析部145dは、各グループを構成する利用者間の類似属性を抽出する。例えば、傾向分析部145dは、グループ情報DB112から各グループを構成する利用者の利用者IDを取得し、この利用者IDに基づいて利用者情報DB111を参照することにより、各グループを構成する利用者の利用者情報を取得する(ステップSF-3)。そして、傾向分析部145dは、この利用者情報に基づいて、各グループを構成する利用者間の属性のうち、統計的平均から乖離して関連性の高いと思われる属性を決定する(ステップSF-4)。

20

#### 【0236】

そして、傾向分析部145dは、ステップSF-2およびSF-4において取得した属性を、カード会社情報DB114のアクセス先情報に基づいて、個別管理サーバ200に送信する(ステップSF-5)。

また、分析手数料取得部146cは、これら属性に関する情報を送信した際の手数料として各カード会社に所定料金を課金するため、請求情報を更新する(ステップSF-6)。すなわち、請求情報DB120に格納されている各カード会社への請求金額を所定金額だけ増分する。

30

#### 【0237】

一方、統括管理サーバ100からの送信を受けた個別管理サーバ200の分析情報受理部234は、送信された各類似属性に関する情報を、受理情報として受理情報DB215に格納する(ステップSF-7)。この受理情報は、各カード会社の担当者によって任意の端末装置を介して任意のタイミングで呼び出されて閲覧等され、各種マーケティングの参考資料等として利用される。

これにて本処理が終了する。

40

#### 【0238】

〔処理の内容 - 請求処理〕

次に、請求処理について説明する。この処理のフローチャートを図11に示す。この処理では、統括管理サーバ100の定期精算部146dは、各カード会社との請求に必要な処理を任意のタイミングで実行する。例えば、定期精算部146dは、請求情報DB120から請求情報を取得すると共に、各カード会社のアクセス先情報をカード会社情報DB114から取得し、アクセス先情報にて特定されるアクセス先に対して請求情報を送信する(ステップSG-1)。

#### 【0239】

この送信を受けた個別管理サーバ200の請求情報受理部235は、送信された請求情報

50

を、会社別請求情報DB216に会社別請求情報として格納する(ステップSG-2)。そして、請求情報受理部235は、任意の決算タイミングでこの会社別請求情報を参照し、手数料としてのポイントを所定方法で仲介金額に換算し、この仲介金額と、請求金額とを、本システムの指定銀行口座に電子送金等して支払いを行う(ステップSG-3)。これにて本処理が終了する。

#### 【0240】

〔他の実施の形態〕

さて、これまで本発明の実施の形態について説明したが、本発明は、上述した実施の形態以外にも、上記特許請求の範囲に記載した技術的思想の範囲内において種々の異なる実施の形態にて実施されてよいものである。

例えば、上記実施の形態においては、カードの種類およびポイントが所定の組合せに合致する場合に、特典と交換することのできるようにしているが、カードの種類のみが所定の組合せに合致する場合に交換可能としてもよい。

#### 【0241】

また、グループを構成する利用者が当該グループの代表者に付与するポイントの決定基準であるグループポイント特定情報としては、上記したポイントの割合の他にも、種々の情報を用いることができる。例えば、利用者のポイントのうち、代表者に付与するポイントの限度を特定するための情報(ポイント限度情報。例えば、「上限=月100ポイント」)や、端数と認識されるポイントを特定するための情報(ポイント端数情報。例えば、「端数=1の位のポイント」と決定)を用いてもよい。

#### 【0242】

また、上記実施の形態においては、各利用者のポイント、共通ポイント、カードの種類とポイントとの組合せ、グループポイントの各々について、特典を付与しているが、他の情報に基づいて特典を取得可能と判断してもよい。

例えば、グループを構成する利用者の属性を利用者情報DB111から取得し、この利用者相互の属性が所定関係にある場合(例えば、同一グループに20歳~50歳までの全ての年齢の利用者が少なくとも1人属している場合等)に、このグループの全部または一部の利用者に特典を付与してもよい。

あるいは、各グループのグループランキングに応じて、グループの代表者やグループに属する利用者に、特典を付与してもよい。

#### 【0243】

また、上記実施の形態においては、分析情報をカード会社にのみ提供するものとしているが、利用者に提供するようにしてもよい。例えば、利用者のクライアント装置300からの要求に応じて、分析情報を記載したWeb画面の画面データを生成してクライアント装置300に送信し、モニタ341に表示させてもよい。この場合、利用者は、他のグループの利用者の傾向を参照して、自己のグループのPR方針を検討したり、他の利用者のカードの利用傾向を参照して、自己に最適なカードを選定することができる。

#### 【0244】

また、上記実施の形態においては、カード会社に請求している各種の手数料(カード申込み時の手数料や特典配送時の手数料)は、利用者に請求するようにしてもよく、あるいは、利用者から取得している手数料(共通特典を付与する際のポイント)は、カード会社から取得するようにしてもよい。

#### 【0245】

また、実施形態において説明した各処理のうち、自動的に行なわれるものとして説明した処理の全部または一部を手動的に行うこともでき、あるいは、手動的に行なわれるものとして説明した処理の全部または一部を公知の方法で自動的に行うこともできる。

この他、上記文書中や図面中で示した処理手順、制御手順、具体的名称、各種の登録データや検索条件等のパラメータを含む情報については、特記する場合を除いて任意に変更することができる。

#### 【0246】

また、図示した各装置の各構成要素は機能概念的なものであり、必ずしも物理的に図示の如く構成されていることを要しない。

例えば、統括管理サーバ100、個別管理サーバ200、あるいは、クライアント装置300が備える処理機能、特に制御部140、230、370にて行なわれる各処理機能は、その全部または任意の一部が、CPU(Central Processing Unit)および当該CPUにて解析実行されるプログラムにて実現され、あるいは、ワイヤードロジックによるハードウェアとして実現される。

また、このコンピュータプログラムは、統括管理サーバ100、個別管理サーバ200、あるいは、クライアント装置300に対して任意のネットワークを介して接続されたアプリケーションプログラムサーバに記録されてもよく、必要に応じてその全部または一部をダウンロードすることも可能である。このあるいは、各制御部の全部または任意の一部を、ワイヤードロジック等によるハードウェアとして実現することも可能である。

10

#### 【0247】

さらに、統括管理サーバ100、個別管理サーバ200、あるいは、クライアント装置300の分散・統合の具合的形態は図示のものに限られず、その全部または一部を、各種の負荷等に応じた任意の単位で、機能的または物理的に分散・統合して構成することができる。

また、クライアント装置300は、PHS(Personal Handy Phone System)の如き他の形態による移動体通信端末や、パーソナルコンピュータ、ワークステーション、家庭用ゲーム機、インターネットTV、あるいは、PDA(Personal Digital Assistant)、コンビニエンスストアに設置したKIOSK端末等として構成されてもよい。

20

#### 【0248】

##### 〔ネットワーク〕

また、統括管理サーバ100、個別管理サーバ200、あるいは、クライアント装置300を接続するネットワークとしては、上述したインターネット400に限られず、任意のネットワークを利用することができる。例えば、限定されたエリア内でLAN、WANあるいはパソコン通信網を用いて、本システムを構築することができる。また、その他にも、地上波、CATV、CS、BS、あるいは、ブロードバンドネットワーク等を用いて、各種データを送受信することができる。すなわち、ネットワークには、有線ネットワークのみならず、これら無線・通信ネットワークを含めることができる。

30

#### 【0249】

また、プログラムはコンピュータ読み取り可能な記録媒体に格納することもできる。ここで、「コンピュータ読み取り可能な記録媒体」とは、フロッピーディスク、光磁気ディスク、ROM、EPROM、EEPROM、CD-ROM、MO、DVD等の任意の「可搬用の物理媒体」や、各種コンピュータシステムに内蔵されるROM、RAM、HD等の任意の「固定用の物理媒体」、あるいは、LAN、WAN、インターネットに代表されるネットワークを介してプログラムを送信する場合の通信回線や搬送波のように、短期にプログラムを保持する「通信媒体」を含むものとする。

#### 【0250】

また、「プログラム」とは、任意の言語や記述方法にて記述されたデータ処理方法であり、ソースコードやバイナリコード等の形式を問わない。なお、「プログラム」は必ずしも単一的に構成されるものに限られず、複数のモジュールやライブラリとして分散構成されるものや、OS(Operating System)に代表される別個のプログラムと協働してその機能を達成するものをも含む。なお、実施の形態に示した各装置において記録媒体を読み取るための具体的な構成、読み取り手順、あるいは、読み取り後のインストール手順等については、周知の構成や手順を用いることができる。

40

#### 【0251】

##### 【発明の効果】

以上に説明したように、本発明によれば、利用者が複数種類のカードを保有している場合において各々のカードの種類やポイントを統括的に判断して特典の取得可否や特典付与を

50

行うことができるので、利用者の複数種類のカードに対するポイントサービスを統括的に  
行うことができる。

【0252】

また、本発明によれば、利用者の複数種類のカードやポイントの相互の関連性に着目して  
その価値を認め、特典を付与等することができるので、従来存在しなかった新規な価値を  
創設して、カードの種類が足りない場合にはその加入を促す等、カード加入の促進等を図  
ることができる。

【0253】

また、本発明によれば、利用者の複数種類のカードを共通の価値に置き換えて、特典を付  
与等することができるので、従来存在しなかった新規な価値を創設して、カード利用の促  
進等を図ることができる。

10

【0254】

また、本発明によれば、利用者のポイントを利用者相互間で共有したり寄付することが  
でき、利用者のポイントを利用者相互に共通の価値に置き換えて、特典を付与等するこ  
とができるので、従来存在しなかった新規な価値を創設して、カードの組織的な利用促進等  
を図ることができる。

【0255】

また、本発明によれば、代表者識別情報に基づいて代表者として識別される利用者のみが  
、特定の利用者と判断されるので、グループの代表者のみが当該グループの各利用者のポ  
イントを用いて特典を取得することができる。

20

【0256】

また、本発明によれば、各利用者は、任意の他の利用者を、当該他の利用者の意思に関わ  
らず代表者として登録等することができ、任意の他の利用者へのポイントの寄付等を容易  
に行うことができる。

【0257】

また、本発明によれば、このグループポイント特定情報を適切に設定等しておくことによ  
り、各利用者のポイントのうち、グループに寄付等するポイントを所望の範囲に制限等す  
ることができる。

【0258】

また、本発明によれば、各利用者のポイントのうち、ポイント割合情報にて特定される割  
合のポイントが、グループポイントとして算定される。

30

【0259】

また、本発明によれば、各利用者のポイントのうち、ポイント限度情報にて特定される限  
度内のポイントが、グループポイントとして算定される。

【0260】

また、本発明によれば、各利用者のポイントのうち、ポイント端数情報にて特定される端  
数のポイントが、グループポイントとして算定される。

【0261】

また、本発明によれば、単にグループで共通するポイントの有無等ではなく、このグルー  
プを構成する利用者相互の関係によって特典付与の可否が判断されるので、グループを構  
成する利用者相互の関係に新しい価値を創造し、グループの設立促進等を図ることができ  
る。

40

【0262】

また、本発明によれば、グループのランキングを利用者に公表等することにより、グルー  
プ選定の際の指標を提示したり、グループの各利用者のポイント取得の意欲の喚起等を図  
ることができる。

【0263】

また、本発明によれば、グループのランキング自体にも新たな価値を認めて、グループの  
各利用者のポイント取得の意欲の喚起等を図ることができる。

【0264】

50

また、本発明によれば、複数のカードを有する利用者の情報を統括的に判断して情報を決定し、この情報を利用者やカード会社に提示することができるので、カードの種別の枠を越えて、カード情報の横断的な提供等を行うことができる。

【0265】

また、本発明によれば、利用者は、自己の保有する複数のカードの有効期限の提示を受けることができ、この有効期限を一元的かつ容易に確認することができる。

【0266】

また、本発明によれば、利用者は、複数のカード会社のキャンペーン情報の提示を受けることができ、このキャンペーンの内容等を一元的かつ容易に確認することができる。

【0267】

また、本発明によれば、共通特典を利用者に付与するための手数料として、本システムが所定ポイントを取得する場合であっても、このポイントの内容が当該利用者に把握されることを回避することができる。

【0268】

また、本発明によれば、共通特典を付与することによって手数料を自動的に取得することができ、本装置の運営コスト等に充当することができる。

【0269】

また、本発明によれば、利用者は、この参照情報を参考として自己のポイントの利用方法等を検討することができる。

【0270】

また、本発明によれば、利用者が現在保有しているポイントのみならず、将来的に取得し得るポイントを含めて、自己のポイントの利用方法等を検討することができ、将来的に取得可能な特典を提示する等、将来的な利用計画のサポートを行うことができる。

【0271】

また、本発明によれば、利用者は、自己が将来的に取得し得る任意のポイントを提示して、シミュレーションを行うことができる。

【0272】

また、本発明によれば、利用者の過去のポイントの取得傾向に基づいて将来の取得ポイントが自動的に予想されるので、利用者が自らポイントを提示しなくても、過去の傾向に基づいたシミュレーションを行うことができる。

【0273】

また、本発明によれば、キャンペーンに対する応募の可否の判断結果に基づいて参照情報が生成されるので、例えば、キャンペーンに対する応募の可否を利用者に提示し、その内容によってさらなるポイントの取得を喚起する等、キャンペーンに関連した参照情報を提示することができる。

【0274】

また、本発明によれば、利用者は、この不足条件を容易かつ正確に把握して、ポイントの利用や新規カードの加入等の判断を行うことができる。

【0275】

また、本発明によれば、各カードの種類やポイントの組合せが所定の組合せに合致するかの判断結果に基づいて参照情報が生成されるので、例えば、カードの種類が足りない旨を利用者に提示して当該カードへの新規加入を促す等、カードの種類とポイントとの組合せに関連した参照情報を提示することができる。

【0276】

また、本発明によれば、利用者は、この不足条件を容易かつ正確に把握して、ポイントの利用や新規カードの加入等の判断を行うことができる。

【0277】

また、本発明によれば、利用者は、キャンペーンへの応募や、カードの種類とポイントの組合せによる特典取得のために、新規カードへの入会が必要である場合には、当該カードへの申込みに関する情報を容易かつ正確に把握することができ、カード加入を容易に行う

10

20

30

40

50

ことができ、カード加入の促進を図ることができる。

【0278】

また、本発明によれば、利用者のカード利用に関する傾向の分析結果に関する情報が参照情報として利用者またはカード会社に提示されるので、例えば、カード会社は、自社が発行したカードの利用者の情報のみならず、同業他社であるB社が発行したカードがどのような利用者に利用されているのか等の傾向を把握することができ、自社の問題点を分析したり、B社の利用者に自社のカードを利用してもらうためのマーケティング戦略を立案する等、カードの種別の枠を越えた横断的なマーケティングや傾向分析を行うことができる。

【0279】

また、本発明によれば、グループに属する利用者の属性の共通傾向に関する分析が行われるので、例えば、各カード会社は、利用者の居住地域や職業等をグループ毎に把握することができ、グループ毎の利用者の傾向分析を行うことができる。

【0280】

また、本発明によれば、各カードを利用する利用者の属性の共通傾向に関する分析が行われるので、例えば、各カード会社は、利用者の居住地域や職業等をカード毎に把握することができ、カード毎の利用者の傾向分析を行うことができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の実施形態にかかるカード情報処理システムの全体構成図である。

【図2】統括管理サーバの要部構成を示すブロック図である。

【図3】個別管理サーバの要部構成を示すブロック図である。

【図4】クライアント装置の要部構成を示すブロック図である。

【図5】カード申込み処理のフローチャートである。

【図6】会員登録処理のフローチャートである。

【図7】グループ登録処理のフローチャートである。

【図8】ポイント交換処理のフローチャートである。

【図9】特典交換処理のフローチャートである。

【図10】傾向分析処理のフローチャートである。

【図11】請求処理のフローチャートである。

【図12】初期画面の表示例を示す図である。

【図13】会員登録申込み画面の表示例を示す図である。

【図14】ログイン画面の表示例を示す図である。

【図15】会員用画面の表示例を示す図である。

【図16】グループ登録画面の表示例を示す図である。

【図17】既登録グループ選択画面の表示例を示す図である。

【図18】新規グループ登録画面の表示例を示す図である。

【図19】グループID通知画面の表示例を示す図である。

【図20】ポイント交換画面の表示例を示す図である。

【図21】確認画面の表示例を示す図である。

【図22】配送確認画面の表示例を示す図である。

【符号の説明】

100 統括管理サーバ

110 格納部

111 利用者情報DB

112 グループ情報DB

113 カード情報DB

114 カード会社情報DB

115 特典情報DB

116 共通特典情報DB

117 組合せ特典情報DB

10

20

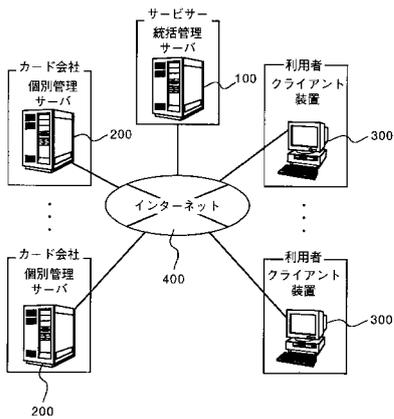
30

40

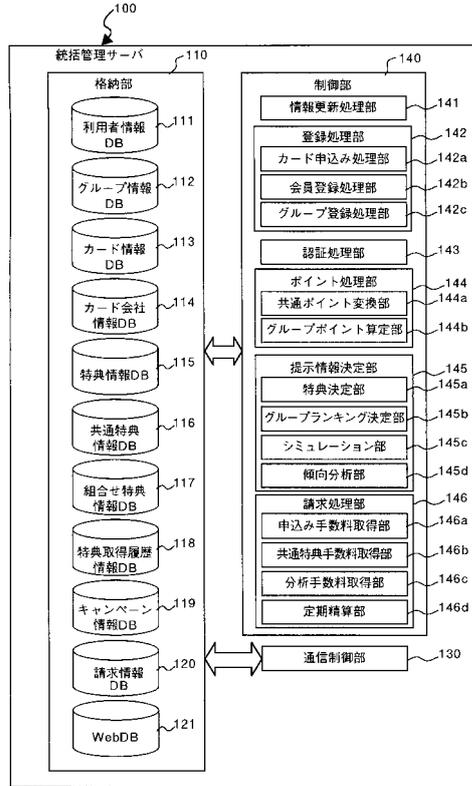
50

1 1 8	特典取得履歴情報 D B	
1 1 9	キャンペーン情報 D B	
1 2 0	請求情報 D B	
1 2 1	W e b D B	
1 3 0	通信制御部	
1 4 0	制御部	
1 4 1	情報更新処理部	
1 4 2	登録処理部	
1 4 2 a	カード申込み処理部	
1 4 2 b	会員登録処理部	10
1 4 2 c	グループ登録処理部	
1 4 3	認証処理部	
1 4 4	ポイント処理部	
1 4 4 a	共通ポイント変換部	
1 4 4 b	グループポイント算定部	
1 4 5	提示情報決定部	
1 4 5 a	特典決定部	
1 4 5 b	グループランキング決定部	
1 4 5 c	シミュレーション部	
1 4 5 d	傾向分析部	20
1 4 6	請求処理部	
1 4 6 a	申込み手数料取得部	
1 4 6 b	共通特典手数料取得部	
1 4 6 c	分析手数料取得部	
1 4 6 d	定期精算部	
2 0 0	個別管理サーバ	
2 1 0	格納部	
2 1 1	会社別利用者情報 D B	
2 1 2	会社別カード情報 D B	
2 1 3	会社別特典情報 D B	30
2 1 4	会社別キャンペーン情報 D B	
2 1 5	受理情報 D B	
2 1 6	会社別請求情報 D B	
2 2 0	通信制御部	
2 3 0	制御部	
2 3 1	情報更新処理部	
2 3 2	カード認証処理部	
2 3 3	ポイント照会処理部	
2 3 4	分析情報受理部	
2 3 5	請求情報受理部	40
3 0 0	クライアント装置	
4 0 0	インターネット	

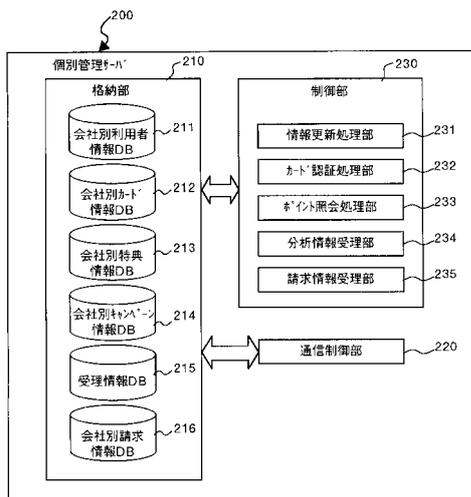
【図1】



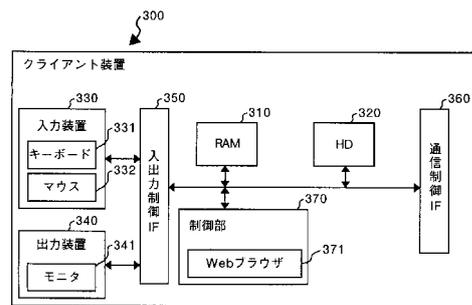
【図2】



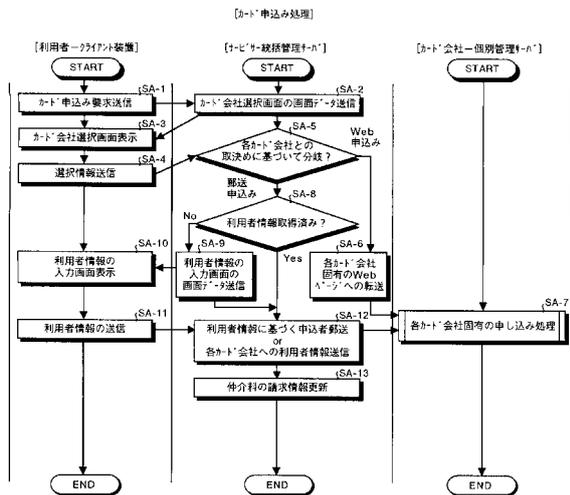
【図3】



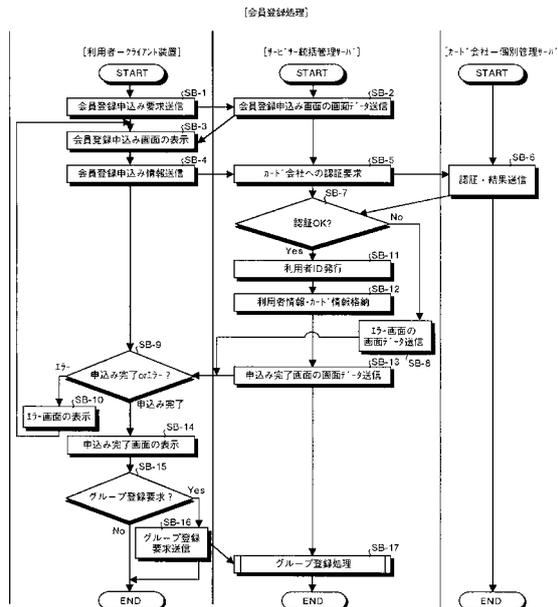
【図4】



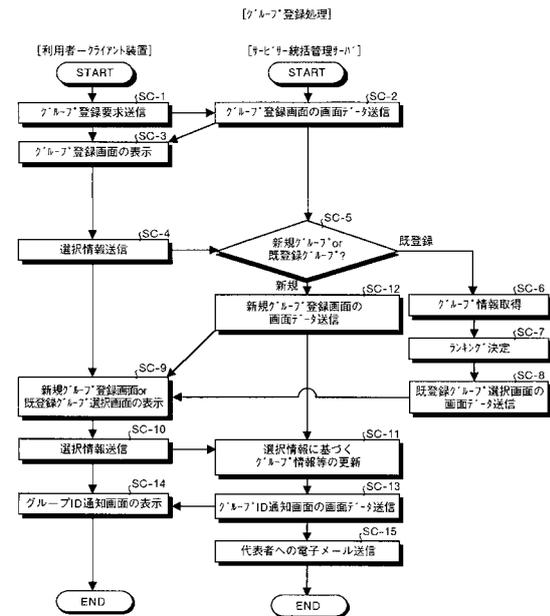
【図5】



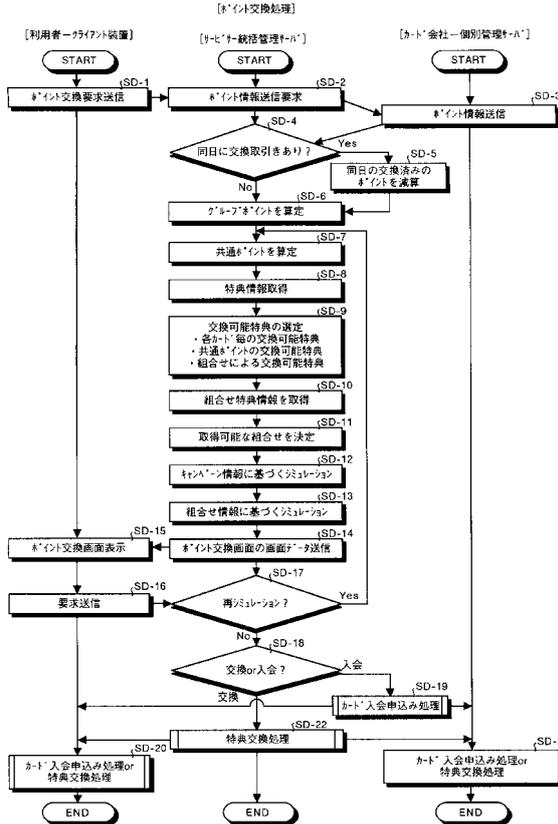
【図6】



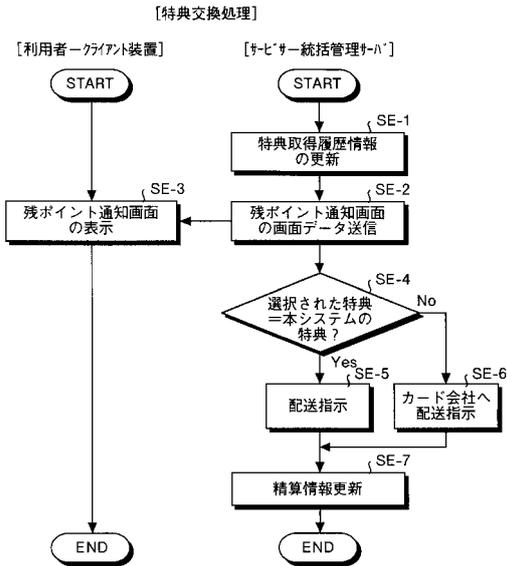
【図7】



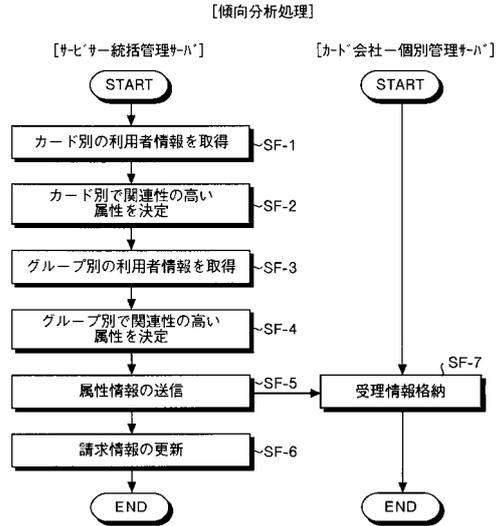
【図8】



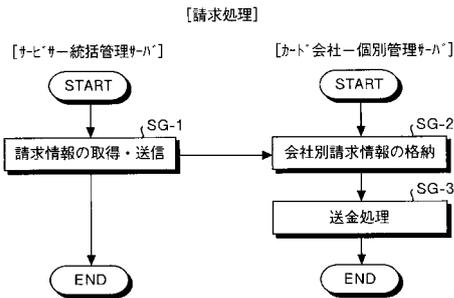
【図 9】



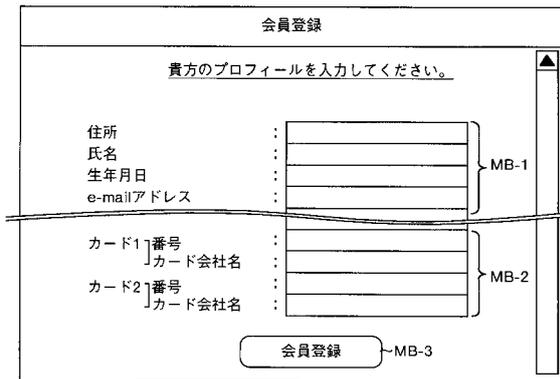
【図 10】



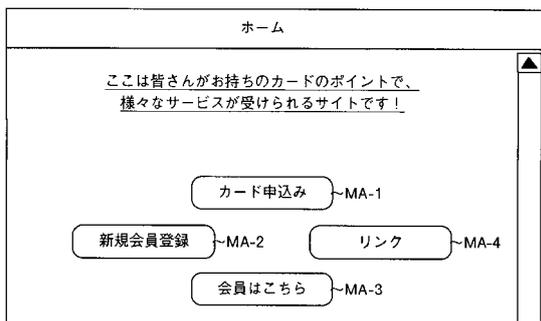
【図 11】



【図 13】



【図 12】



【 図 1 4 】

ログイン

利用者IDと利用者パスワードを入力してください。

利用者ID

利用者パスワード

ログインする

【 図 1 5 】

会員情報

こんにちは、〇〇〇さん！  
貴方の現在のポイント数は・・・

{ MC-1	{ MC-2	{ MC-3
カード名	ポイント数	有効期限
AAAカード	200ポイント	2001/10/31
BBBカード	40ポイント	2002/01/31
CCCカード	75ポイント	2001/12/31

貴方の所属しているグループの状況は・・・

{ MC-4	{ MC-5
グループ名	グループポイント
〇×倶楽部	150ポイント

MC-6       MC-7       MC-8

【 図 1 6 】

グループ登録

MD-1       MD-2

【 図 1 7 】

既登録グループへの登録

現在登録されているグループです。

登録したいグループに対し、代表者に付与する割合を入力して選択して下さい。

グループ名	グループの説明	ランキング		
〇×倶楽部	〇×と一緒に応援しませんか？	1	<input type="text"/> %	<input type="button" value="登録"/>
〇△保護の会	〇△を保護するためにポイントを寄付して下さい。	2	<input type="text"/> %	<input type="button" value="登録"/>

ME-1 (グループ名), ME-2 (説明), ME-3 (ランキング), ME-4 (割合), ME-5 (登録)

【 図 1 9 】

グループID

下記のグループが登録されました！！

グループ名    〇〇会    ~MG-1

グループID    GID02005    ~MG-2

~MG-3

【 図 1 8 】

新規グループ登録

グループのプロフィールを入力してください。

グループ名  ~MF-1

グループの説明  ~MF-2

代表者の利用者ID  ~MF-3

~MF-4

【 図 2 0 】

購入可商品リスト

〇〇〇さんにお勧めの商品はこちらです！

MH-1

	商品名	
New	ヘッドライヤー	交換する MH-2
購入OK	あかすりセット (韓国製)	交換する
購入OK	YES/NO 枕	交換する
もうすぐ	かわいれ大根 育成キット	XXカード入会 MH-4
もうすぐ	21世紀パソコン	A社のカードで あと 10ポイント!! MH-3

再シミュレーション：取得予定のポイント  MH-5

シミュレーション指示 MH-6

【 図 2 1 】

交換特典選択

交換得点はこれよろしいですか？

商品名 : ヘッドライヤー  
 個数 : 1 個  
 配送日時 : 2001年 8月30日 16:00~18:00  
 配送先 : ●●県●●市●●町 1-2-3  
 ●●アパート 203号

MI-1

交換する MI-2      やめる

【 図 2 2 】

特典配送確認

もうすぐ、〇〇〇さんの手元に届きます！

MJ-1      MJ-2

注文日	特典名	配送状況
2001/07/29	ヘッドライヤー	配送済み
2001/08/15	あかすりセット (韓国製)	在庫確認中

もどる

---

フロントページの続き

(72)発明者 中村 代輔

東京都新宿区西新宿2丁目6番1号 株式会社シーエスケイ内

審査官 関 博文

(56)参考文献 特開平07-078226(JP,A)

特開平11-250353(JP,A)

特開2001-209862(JP,A)

特開2001-256389(JP,A)

特開平07-210763(JP,A)

特開平06-084025(JP,A)

特開2000-235599(JP,A)

特開2000-207334(JP,A)

特開2000-353280(JP,A)

特開平11-195061(JP,A)

特開平10-143572(JP,A)

特開平10-078989(JP,A)

特開2000-305984(JP,A)

特開2001-250170(JP,A)

納富康邦, u mileage 航空会社マイレージにも交換できちゃうポイントシステム, インターネットファン, 日本, (株)毎日コミュニケーションズ, 2001年10月1日, 第6巻, 第9号, 第122頁

小川弘晃, ポイントプログラム 顧客“つかむ”販促ツール ASPサービス急増 リアル業者も参入, 日経ネットビジネス, 日本, 日経BP社, 2001年4月10日, 第72号, 第60-63頁

(58)調査した分野(Int.Cl., DB名)

G06Q 10/00-50/00